Q:簡単に録画予約したい!

◆デジタル放送の場合

A:番組表から簡単に録画予約できます(58ページ)。

A:ジャンルやキーワードでお気に入り自動録画できます(68ページ)。

◆アナログ放送の場合

A:Gコード予約で簡単に録画予約できます(60ページ)。

Q:録画した番組を観たい!

◆HDDに録画した場合

A:HDDに録画した番組は簡単検索!
「ワケ録ナビ」を利用しましょう(90ページ)。
ワケ録ナビを使うと、録画した番組をフォルダで整理することもできます。

◆DVDに録画した場合

A:DVDに録画した番組を一覧表示!
「ディスクナビゲーション」を利用しましょう(87ページ)。

Q:画質・音質にこだわりたい!

A:「録画モード」でこだわりの画質・音質に設定しましょう(53ページ)。

Q:HDDがいっぱいになりそう!

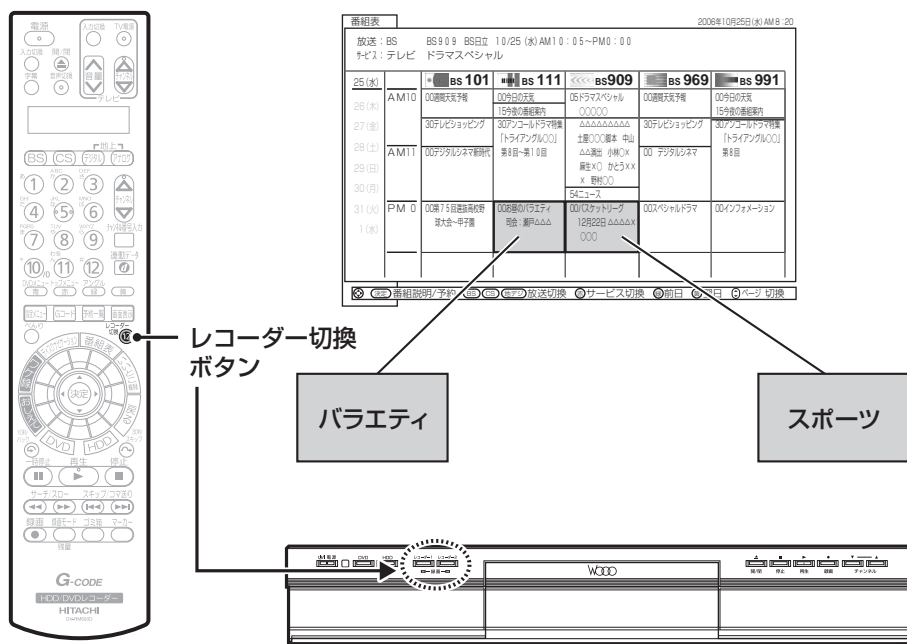
A:HDDに録画した番組はDVDにダビング(またはムーブ)して保存しましょう(111ページ)。
DVDにダビング(またはムーブ)して不要になった録画番組は、必要に応じて、いつでもHDDから消去できます(121～123ページ)。

Q:録画したい番組が重なった!

A:同時に2番組録画しましょう(48ページ)。

同時録画について

本機は2つの番組を同時に録画または録画予約できます。同じ時間帯に見たい番組が重なっても、同時に録画でき便利です。2つの番組を録画するときは、[レコーダー切換]を押して「レコーダー1」「レコーダー2」に切り換えて録画します。

下の組合せで録画できますので、目的に合わせて使い分けてください。

その1

「レコーダー1」：地上アナログ放送や外部入力の信号を、HDDまたはDVDに録画する。

「レコーダー2」：デジタル放送をHDDに録画する。

その2

「レコーダー1」：デジタル放送を、HDDまたはDVDに録画する。

「レコーダー2」：もう1つのデジタル放送を、HDDに録画する。

「レコーダー1」と「レコーダー2」の録画モードについて

「レコーダー2」に録画できる番組は、デジタル放送の「TS」モードのみです。

地上アナログ放送、外部入力は「レコーダー1」でのみ受信、録画できます。

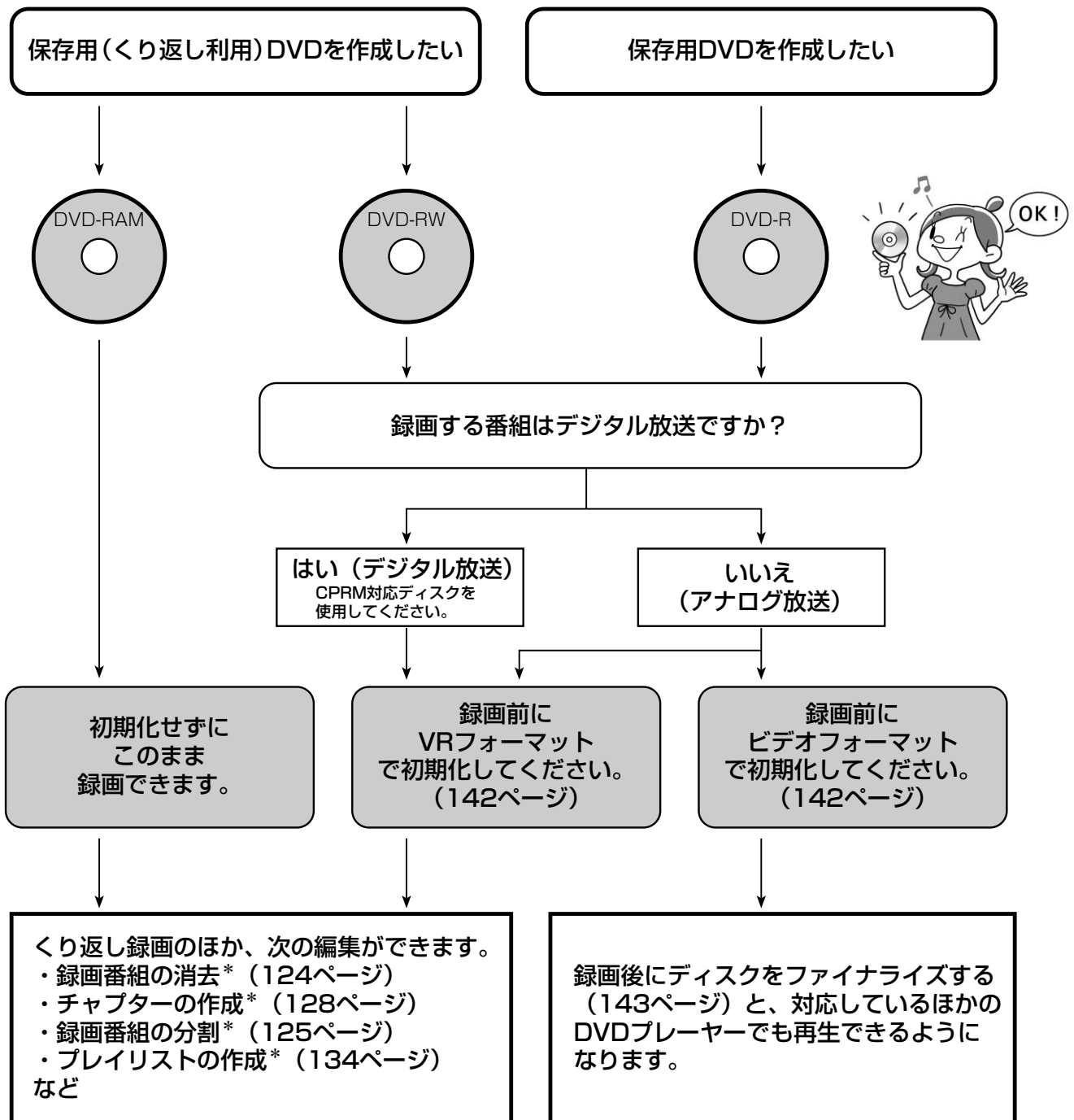
	録画できる番組	録画モード	録画先	とばし観／いいとこ観
レコーダー1	・地上アナログ放送 ・デジタル放送 ・外部入力	・TS ・XP/SP/LP/EP ・FR	・HDD ・DVD	・HDDに録画した番組：できる ・DVDに録画した番組：できない
レコーダー2	・デジタル放送	・TS	・HDD	できない

お知らせ

- 録画した番組や市販のディスクを再生しているときは、レコーダー1（R1）とレコーダー2（R2）の切り換えができません。再生を停止してから切り換えてください。
- デジタル放送をDVDに録画するときは、CPRM対応のDVDディスクをお使いください。
- 「とばし観」については、「とばし観」（86ページ）を、「いいとこ観」については、「録画番組をダイジェストで再生する（いいとこ観）」（99ページ）をご覧ください。

DVDディスクの選びかた

DVDに番組を録画する場合、以下の流れに従って、使用するディスクと記録フォーマットの種類をあらかじめ確認してください。

●デジタル放送の番組を録画する場合、CPRM対応ディスクを使用してください。

＊ DVD-Rの場合、VRフォーマットで初期化してもチャプター/プレイリストの作成、および録画番組の分割／消去はできません。

お知らせ

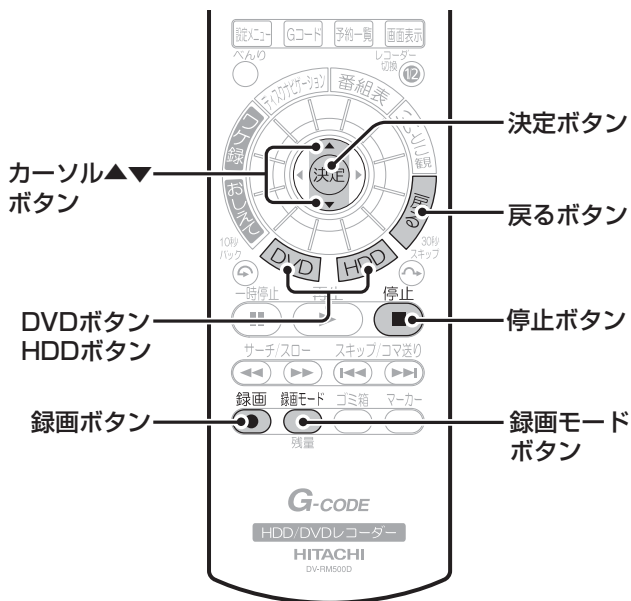
- 各ディスクの詳細については、「本機で使用できるディスク」（12ページ）、「本機でできること」（13ページ）をご覧ください。
- 録画モードについては、「録画モードについて」（53ページ）をご覧ください。

今見ている番組を録画する

現在見ている番組をHDDまたはDVDに録画できます。

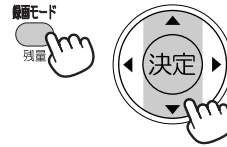
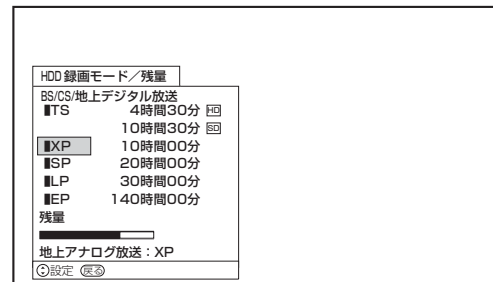
お知らせ

- 本機ではじめて使用するDVD-RWおよびDVD-Rは、録画する前にフォーマット（初期化）が必要です。「DVDディスクをフォーマットする」（142ページ）をご覧になり、フォーマットしておいてください。
- デジタル放送を受信していない場合は、録画する前に必ず日付時刻を設定してください。
- デジタル放送の場合、番組ごとに分割されて録画されます。外部入力録画の場合、映像信号が乱れた、または映像信号がなくなった箇所で分割されて録画される場合があります。

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

1 録画先を選ぶ

・「レコーダー1」で見ているときは、［HDD］または［DVD］を押します。
・「レコーダー2」で見ているときは、HDDに録画されます。

- DVDに録画する場合は、フォーマットしたDVDディスクを本機にセットしてください。

2 「レコーダー1」で見ているときは、［録画モード］を押してから、［カーソル ▲▼］で録画モードを選び、［決定］を押す

各録画モードの録画時間とディスクの残量が画面に表示されます。
選んだ録画モードは本体表示窓にも表示されます。

「残量」の下の青色のバーが長いほど、残量が残っていることを示します。

- 録画モードを選んだら［戻る］を押してください。
- 「レコーダー2」ではTSモードに固定されます。
- 選んだ録画モードの録画時間とディスクの残量は、画面の下側および本体の表示窓で確認できます。
- 録画モードの詳細については、「録画モードについて」（53ページ）をご覧ください。
- TSモードのHD/SDは、放送方式により自動選択となります。

3 ［録画］を押す

本体の表示窓に「REC」のメッセージが表示され、赤色の録画マークが点灯し、現在視聴中の番組が録画されます。

また、本体前面の録画ボタンが赤色に点灯します。

- ディスクの空きスペースに録画されます。すでに録画されている番組を上書きすることはありません。

■ 録画を停止するには

[停止]を押します。停止した位置までの情報が1つの番組として録画されます。

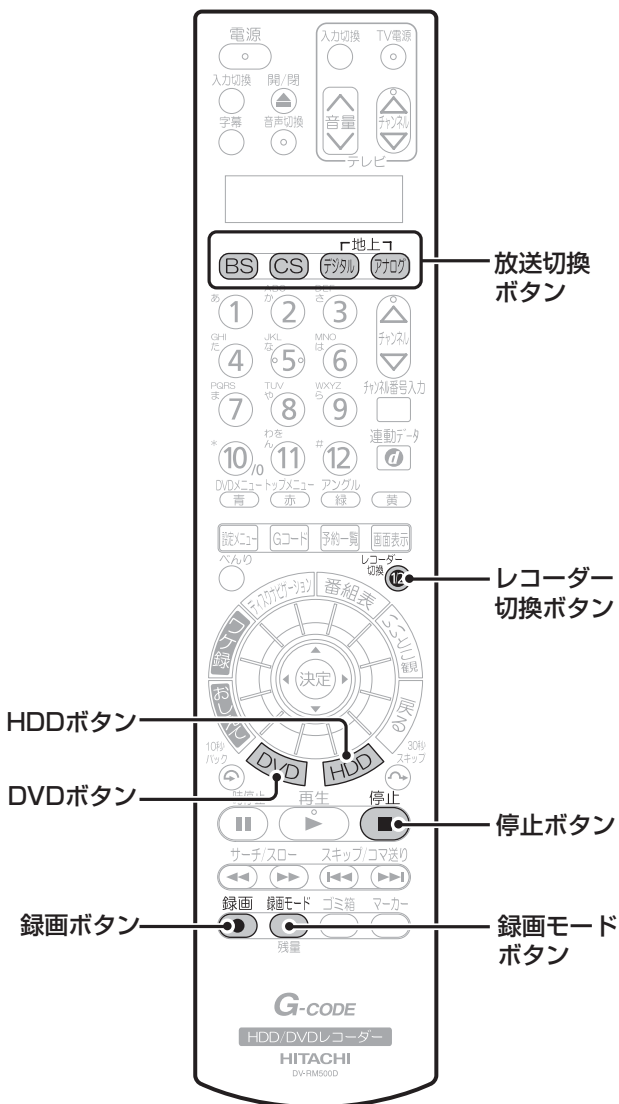
※ 録画の一時停止はできません。

録る

録画中に別の番組を録画する（同時録画）

「レコーダー1」または「レコーダー2」で録画しているときに、もう一方のレコーダーで別の番組を録画できます。

ご注意

● 録画できる放送の種類や録画モードは、レコーダーによって異なります（45ページ）。

お知らせ

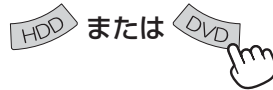
● デジタル放送の場合、番組ごとに分割されて録画されます。外部入力録画の場合、映像信号が乱れた、または映像信号がなくなった箇所で分割されて録画される場合があります。

1 録画中に［レコーダー切換］を押し、もう一方のレコーダーを選ぶ

2 放送切換ボタン（BS、CS、デジタル、アナログ）で放送の種類を選ぶ

•「レコーダー2」ではデジタル放送のみ選択できます。

3 チャンネルを選ぶ（19ページ）

4 録画先を選ぶ

・「レコーダー1」で見ているときは、［HDD］または［DVD］を押します。
・「レコーダー2」で見ているときは、HDDに録画されます。

• DVDに録画する場合は、フォーマットしたDVDディスクを本機にセットしてください。

5 ［録画モード］を押して録画モードを選ぶ

•「レコーダー2」ではTSモードに固定されます。

6 ［録画］を押す

同時録画が始まります。

■ 録画中のレコーダーを見分けるには

録画中は、本体のレコーダー1／レコーダー2ボタンの下の赤いランプが点灯します。このランプで録画中のレコーダーを確認できます。

■ 録画を停止するには

［レコーダー切換］を押し、録画を停止したいほうのレコーダーを選び、「停止」を押します。

他の機器から録画する

お手持ちのビデオデッキやビデオカメラなどの他の機器を接続すると、本機のHDDやDVDに録画することができます。

ご注意

- 外部入力録画をするときは［レコーダー切換］を押して、「レコーダー1」に切り換えてください。

1 ［入力切換］を押す

［入力切換］を押すたびに、以下のように切り換わります。

外部入力1→外部入力2→外部入力3→i.LINK*1
↑―――― テレビ放送 ←――――┘

設定表示	画面の表示	本体表示窓の表示	内 容
外部入力1	L1	L1	背面の外部入力1端子（S映像・映像・音声入力端子*2）に接続した機器の映像を見るときは、「L1」に切り換えます。
外部入力2	L2	L2	背面の外部入力2端子（S映像・映像・音声入力端子*2）に接続した機器の映像を見るときは、「L2」に切り換えます。
外部入力3	L3	L3	前面の外部入力3端子（S映像・映像・音声入力端子*2）に接続した機器の映像を見るときは、「L3」に切り換えます。
i.LINK*1	i.LINK	d d LINC	背面のi.LINK端子に接続した機器の映像を見るときは、「i.LINK」（「d」）に切り換えます。i.LINK機器からの信号を認識すると、「d」→「d LINC」へ表示が変わり、映像を見ることができます。*3

＊1 DV-DH1000D/500Dのみ

＊2 S映像入力端子と映像入力端子の両方が接続された場合、S映像入力端子の映像が優先されます。

＊3 本機背面の2つのi.LINK端子の両方に映像が入力されている場合は、先に入力されているほうの映像が表示されます。

2 ［HDD］または［DVD］を押す

録画先がHDDまたはDVDに設定されます。

3 ビデオデッキやビデオカメラなど他の機器を再生する

4 ［録画］を押す

録画が始まります。

■ 録画を停止するには

［停止］を押します。

日立製i.LINK機器からムーブ・ダビングする（WoooでLink）

■日立HDDレコーダー内蔵テレビから本機へムーブ・ダビングする

日立HDDレコーダー内蔵ハイビジョンプラズマテレビ／液晶テレビと本機をi.LINK接続すると、テレビのレコーダーに録画された番組を、本機のHDDへムーブ・ダビングすることができます。

●ムーブ：HDDレコーダー内蔵テレビに録画された番組が本機に移動（ムーブ）し、HDDレコーダー内蔵テレビから消去されます。
●ダビング：HDDレコーダー内蔵テレビに録画された番組が本機にコピーされます。（テレビのレコーダーから消去はされません。）
※デジタル放送の「1回のみ録画可能」（コピーワンス）番組は移動（ムーブ）となり、「録画可」（コピーフリー）番組はダビングとなります。
※DVDに直接ムーブ・ダビングはできません。

対応機器

●HDDレコーダー内蔵ハイビジョンプラズマテレビ／液晶テレビ：W42P-HR9000/W37P-HR9000/W32L-HR9000

接続例

i.LINK接続について詳しくは、「i.LINK対応機器と接続する（DV-DH1000D/500D）」（『接続・設定編』30ページ）をご覧ください。

1 i.LINKコードを接続して、HDDレコーダー内蔵テレビに本機を認識させる

- 操作画面がテレビに表示されますが、テレビからの操作はできません。
- 操作手順は、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の［入力切換］を押して、「i.LINK」にする

・はじめに本機をレコーダー1でHDDに切り換えておいてください（49ページ）。
・本機の表示窓に「d」と表示されます。

3 HDDレコーダー内蔵テレビからダビング画面を表示させ、「移動開始」または「ダビング開始」を選び、［決定］を押す

- 本機の表示窓に「d LINC」と表示されます。
- 操作手順については、接続した機器の取扱説明書もご覧ください。

■本機同士で録画番組をムーブ・ダビングする

対応機器

●日立ハイビジョンHDD／DVDレコーダー DV-DH1000D/500D

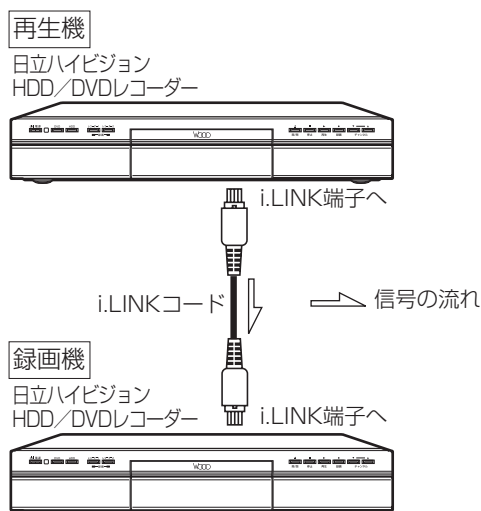
本機を2台i.LINK接続すると、「TS」モードで録画された番組を、一方にムーブ・ダビングすることができます。
（XP、SP、LP、EPモードで録画された番組は、ムーブ・ダビングできません。）

■ i.LINKムーブ・ダビング時の録画モード

再生機側	再生機側の録画モード	録画機側(本機)HDDにムーブ・ダビングした後の録画モード	本機にムーブ・ダビングした番組のDVDへのムーブ・ダビング
日立HDDレコーダー内蔵テレビ(W42P-HR9000/W37P-HR9000/W32L-HR9000)	TS	TS	XP、SP、LP、EP、FRいずれかの録画モードでムーブ・ダビングできます（高速ダビングはできません）。*2
	TSE1、TSE2	TS*1	
	XP、SP、LP、EP	TS*1	
日立ハイビジョンHDD/DVDレコーダー(DV-DH1000D/500D)	TS	TS	
	XP、SP、LP、EP	ムーブ・ダビングできません	－

＊1　画質・音質はムーブ・ダビング前と同等です。
＊2　デジタル放送の番組はCPRM対応ディスクにのみ可能です。

●ムーブ：「TS」モードで録画された番組が再生機側から録画機側に移動（ムーブ）し、再生機側からは消去されます。
●ダビング：「TS」モードで録画された番組が再生機側から録画機側にコピーされます。（再生機側から消去はされません。）
※デジタル放送の「1回のみ録画可能」（コピーワンス）番組は移動（ムーブ）となり、「録画可」（コピーフリー）番組はダビングとなります。
※DVDに直接ムーブ・ダビングはできません。

接続例

1 録画機側のリモコンの［入力切換］で「i.LINK」に切り換える
・はじめに録画機側をレコーダー1でHDDに切り換えておいてください（49ページ）。
・本機の表示窓に「d」と表示されます。

2 テレビを、再生機側が接続されている入力に切り換える（例：外部入力1）

3 再生機側のリモコンの［ディスクナビゲーション］または［ワケ録］を押す

4 再生機側の［カーソル▲▼◀▶］でムーブ・ダビングしたい番組を選ぶ

5 再生機側のリモコンの［べんり］を押し、［カーソル▲▼］で「ダビング」を選んで、［決定］を押す

6 再生機側のリモコンの［カーソル▲▼］で「HDD→i.LINK」を選び、［決定］を押す

7 ［カーソル◀▶］でダビングしたい番組を選び、［決定］を2回押す

• i.LINKムーブ・ダビング時は、1回に1つの番組しか選べません。

8 ［カーソル▲▼］で「選択終了」を選び、［決定］を押す

9 ［カーソル▲▼］で「移動開始」または「ダビング開始」を選び、［決定］を押す
本機の表示窓に「d LINC」と表示されます。

■ ムーブ・ダビングを途中で停止するには

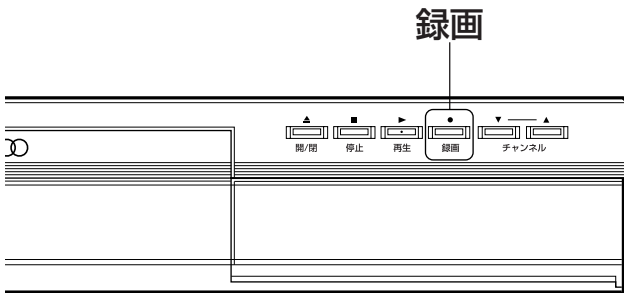
録画機側前面の［停止］を押してください。（ムーブ・ダビング中は、リモコンの［停止］では操作できません。）ムーブの場合、停止するまでの内容がHDDに記録され、再生機側は停止するまでの内容が消去されます。

ご注意

●対応機器以外からムーブを行った場合の動作につきましては、当社では一切動作保証をいたしません。
●i.LINKムーブ・ダビングで本機に接続できるi.LINK機器は1台です。複数のi.LINK機器が接続されている場合、i.LINKムーブ・ダビングはできません。
●ムーブ・ダビング中に録画予約開始時刻となった場合、予約録画は実行されません。
●ムーブ・ダビング中は、他の番組の再生、HDD⇔DVDのムーブ、DVDの再生はできません。
●ムーブ・ダビング中に本機の電源ボタンを押すと電源は切れますが、ムーブ・ダビングは実行されています（待機状態）。
●ムーブ・ダビング中に、他のi.LINK機器を接続すると、ムーブ・ダビングは中断されます。ムーブの場合、再生機側では、中断するまでの内容がHDDから消去されますのでご注意ください。
●ムーブ・ダビングされた番組はレコーダー1（R1）のHDDに録画されます。ムーブ・ダビング中にレコーダー2（R2）に切り換えると、レコーダー2（R2）の放送（デジタル放送）を見ることができます。ただしムーブ・ダビング中は録画できません。
●録画時間が短い番組（約60秒以内）は、ムーブ・ダビングできません。
●HDDレコーダー内蔵テレビで録画した番組は、本機にムーブ・ダビングするとすべてTSモードとして表示されます。また、画質・音質はムーブ・ダビング前と同等です。
●ムーブ・ダビングした際、日付時刻情報が取得できない場合があります。この場合、番組名は自動的にムーブ・ダビングした日付になります。
●ムーブ・ダビング時に録画機側が受信設定されていないと、地上デジタルのチャンネル番号に「000」が、アナログ放送のチャンネル番号には「0」が表示されます。
●再生機側で変更した番組タイトルやサムネイルはムーブ・ダビング後の番組には反映されません。
●再生機側で設定したチャプターはムーブ・ダビング後の番組には反映されません。
●本機から日立HDDレコーダー内蔵ハイビジョンプラズマテレビ／液晶テレビへのムーブ・ダビングはできません。

録画の終了時間を設定する（クイックタイマー）

HDD TS HDD VR RAM RW VR RW V R VR R V

録画中に録画終了時間を設定できます。録画中に急用でお出かけする場合や、おやすみ前などに便利です。

1 録画中に本機前面の［録画］を押す

［録画］を押すたびに30分→1時間→1時間30分→2時間→3時間→4時間→5時間→6 時間→通常録画（表示なし）の順で録画時間が切り換わります。

- 設定した録画時間が経過すると、自動的に録画を停止します。

■ クイックタイマー録画を解除するには

クイックタイマー録画中に、［録画］を繰り返し押して通常録画（表示なし）になってから、［停止］を押してください。クイックタイマー録画中に［停止］を押しても録画は停止しませんので、ご注意ください。

■同時録画中にクイックタイマーを設定するには

録画中に本機前面の[レコーダー1]／[レコーダー2]を押し、クイックタイマーを設定したいレコーダーを選び、本機前面の[録画]を押します。

■ 同時録画中にクイックタイマー録画を停止するには

録画中に本機前面の[レコーダー1]／[レコーダー2]を押し、クイックタイマー設定を解除したいレコーダーを選び、[録画]を繰り返し押して通常録画（表示なし）になってから、[停止]を押してください。クイックタイマー録画中に[停止]を押しても録画は停止しませんので、ご注意ください。

お知らせ

- クイックタイマー録画中に［電源］を押して本体の電源を切っても、録画は継続されます。
- クイックタイマー録画中は、予約録画よりクイックタイマー録画が優先されます。

お知らせ

- 録画中でも録画していないほうのレコーダー（レコーダー1またはレコーダー2）に切り換えると、他のチャンネルに切り換えることができます。
- 録画中の録画モードを変更することはできません。
- 録画中のチャンネルを切り換えることはできません。
- 録画を一時停止することはできません。
- 録画中に予約録画の開始時刻になると予約録画が優先され、それまでの録画は停止します。
- 録画中に［電源］を押すと、録画は停止します。ただし、予約録画時（57ページ）とクイックタイマー録画時（52ページ）は停止しません（電源が切れたように見えますが、録画は継続されます）。
- 録画開始から15秒以内に停止した場合は、録画はされません。
- ビデオデッキやビデオカメラなどの外部入力（アナログ）の映像を録画する場合は、［入力切換］を押し、該当する外部入力（L1、L2、L3）に切り換えてから録画してください。ただし、「TS」モードでは録画できません。
- ラジオ放送および独立データ放送は録画できません。
- 以下のような場合は、録画できません。
  - ・番組表の表示中（21ページ）
  - ・静止画の再生中（105ページ）
- 録画する放送の種類や外部入力信号の内容などにより、録画できる時間は変わります。
- デジタル放送を録画すると、番組ごとに番組情報も記録されます。
- 二重音声放送を録画すると、再生時に音声を切り換えることができます（102ページ）。
- 受信状況が悪い状態（画面に四角いノイズが出たり、映像、音声が途切れたりするなど）でデジタル放送を録画すると、録画した番組の先頭が切れたり、録画が途中で途切れたりすることがあります。このような場合、録画時間表示と実際の再生時間が異なることがあります。
- 停電などによって録画が途中で中断された場合、再び電源を入れても録画は再開されません。また、録画された番組を正しく再生できないことがあります。
- データ放送番組を録画した場合、内容によっては再生時に正しく操作できない場合があります。
- S1／S2映像入力端子で接続した外部機器からの映像を連続録画した場合、再生時に信号の切り換わりで映像が乱れる場合があります。
- 予約待機できる外部機器を本機に接続して、外部機器の放送開始と連動させて本機に録画することができます（74ページ）。
- 放送電波の乱れや本機の一時的な誤動作により、録画を自動で一時停止し、その後再開する場合があります。その結果、数秒から数分程度録画が中断し、一回の録画で複数の番組に分かれます（ディスクナビゲーション画面で、複数のサムネイルが出ます）。
- 本機は録画途中のアスペクト比変更には対応しておりません。番組の途中でアスペクト比が変更される番組を録画すると、番組先頭のアスペクト比に統一されて録画されます。
- デジタル放送をHDDにTSモードで録画すると、字幕を録画できます。録画する前に字幕を選んでください（23ページ）。ただし、字幕を入れたままDVDへムーブ・ダビングすることはできません。

録画するときの注意点

録画モードと録画時間について

■録画モードについて

録画する番組の種類や用途に合わせて録画モードを選んでください。

録画モード	録画できる放送			録画後の信号	特徴	録画先		
	デジタルハイビジョン	デジタル標準	アナログ			レコーダー1		レコーダー2
						HDD	DVD	HDD
TS（HD/SD）	○	○	×	デジタル信号のみ	・デジタル放送をそのままの画質で録画できます。 ・HD/SDは放送によって自動的に切り換わります。	○	×	○
XP	○	○	○	テレビ信号（NTSC）のみ	「TS」に比べてデジタル放送の画質は落ちますが、長時間録画が可能です。XP→SP→LP→EPの順に録画時間は長くなります。	○	○	×
SP								
LP								
EP								
FR	○	○	○	テレビ信号（NTSC）のみ	DVDディスクの残量に収まる録画モードが自動的に設定されます。DVDへの予約録画やHDDからDVDへのダビングのときに選べます。	×	○	×

※「HD」とは高画質なデジタルハイビジョン放送のことです。「SD」とは従来と同等の画質のデジタル標準テレビ放送のことです。
※TSモードのHD/SDは、放送方式により自動的に選択されます。

■ ハイビジョン映像をそのままの画質で録画するには

録画先を「HDD」、録画モードを「TS」モードにして録画してください。

●TSモードについて

「TS」モードでは、デジタル信号をそのまま録画するMPEG-TS方式で録画されます。そのため、HDDから再生する際は、放送時の画質を保持したままの「TS」モードで再生できます。

■録画時間の目安

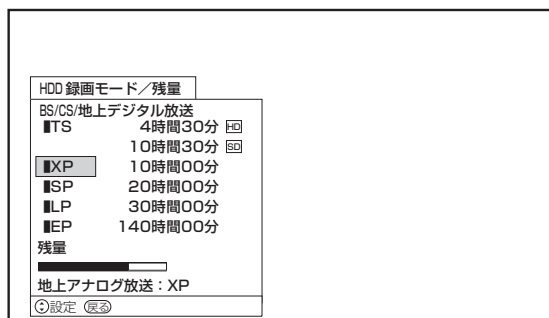
録画モード		画質（目安）	記録時間			
			DV-DH1000D	DV-DH500D	DV-DH250D	DV-DH160D
TS	BSデジタル（HD）*1	デジタルハイビジョン画質	約90時間	約45時間	約22時間	約13時間
	BSデジタル（SD）*1	デジタル標準画質	約270時間	約135時間	約67時間	約42時間
	地上デジタル（HD）*1	デジタルハイビジョン画質	約128時間	約64時間	約31時間	約20時間
XP		DVD画質	約220時間	約110時間	約55時間	約32時間
SP		S-VHS画質	約430時間	約215時間	約105時間	約65時間
LP		S-VHS画質	約870時間	約435時間	約215時間	約130時間
EP		VHS画質	約1340時間	約670時間	約330時間	約210時間
EP8*2		VHS3倍モード画質	約1700時間	約850時間	約430時間	約275時間

＊1 HD/SDは、放送によって自動的に切り換わります。
＊2 設定メニューの「EP録画モード」を「8時間モード」に設定すると選べます（146ページ）。

■ダウンコンバート録画について

本機でデジタル放送を「XP」、「SP」、「LP」、「EP」のいずれかの録画モードで録画すると、NTSC信号（標準テレビ信号）に変換（ダウンコンバート）して録画します（MPEG-PS方式）。ダウンコンバート録画すると、複数の音声や映像が送られている番組でも、現在選んでいる音声、映像だけで録画されます。

ディスクの残量を確認するには

［録画モード／残量］を押すと、各録画モードで録画できる時間とディスクの残量が表示されます。

※HD/SDは、放送によって自動的に切り換わります。

HDDに録画するときの注意点

- 連続録画時間は最大9時間です。9時間が経過すると録画は自動的に停止します（9時間を超える番組は予約録画できません）。
- HDDに録画できる番組は最大999 個です。
- HDDの残量が約5Gバイト（TSモード（HD）で約30分）になると録画開始時にメッセージが表示されます。
- 録画中に録画が禁止されている番組または映像になると録画を停止し、それまでの内容がHDDに記録されます。

DVDに録画するときの注意点

本機ではじめてDVD-RW、DVD-Rディスクに録画するときは、録画する前に必ずDVDディスクをフォーマットしてください（142ページ）。また、本機で使用できるDVDディスクの種類とその詳細については、「本機をご使用になる前に」（12ページ）をご覧ください。

- 1枚のDVDに録画できる番組は最大99個です。
- フォーマット形式（142ページ）が「ビデオモード」のDVD-RWおよびDVD-Rにはデジタル放送を録画できません。
- DVDの残量がない場合は、不要な録画番組を消去する（124ページ）か、新しいDVDを使用してください。
- ディスクプロテクトを設定している場合は録画できません（141ページ）。
- 録画中に［画面表示］を押すと、録画状態についての情報が表示されます。表示される内容は使用するDVDにより異なります。

お知らせ

- 録画開始後15秒以内に停止した場合、録画した番組は保存されません。
（フォーマット形式（142ページ）が「ビデオモード」のDVD-RWおよびDVD-Rでは、15秒以内に停止しても録画した番組が保存され、再生できます。）
- デジタル放送を録画する場合、番組ごとに分けて録画されます。ただし、録画開始後15秒以内に番組が切り換わった場合、切り換わる前の番組は保存されません。

デジタル放送の録画制限について

デジタル放送には、不正なダビングを防止し、著作権を保護するために、CPRM（「1回だけ録画可能」*）という著作権保護技術が適用されています。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した録画機器またはDVDへ録画すると1回録画が済んだことになり、他のデジタル録画機器（D-VHSやDVDレコーダーなど）へのダビングはできません。

＊「デジタル1COPY」、「一世代のみコピー可」とも呼ばれています。

「1回だけ録画可能」な番組に対応しているDVDディスクは以下のとおりです。
・DVD-RAMディスク
・DVD-RWディスク
・DVD-Rディスク
※いずれもCPRM対応のもの

ご注意

- DVD-RWディスク、DVD-Rディスクに「1回だけ録画可能」の番組を録画・ダビングする場合は、VRモードで初期化してください（142ページ）。
- 「1回だけ録画可能」の番組をDVDに予約録画するときは、セットされているDVDディスクが「1回だけ録画可能」（CPRM）に対応しているかどうか確認してください。
- 本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組を他の機器で再生する場合、「1回だけ録画可能」に対応していない機器では再生できません。
- 「1回だけ録画可能」の番組をビデオカセットにダビングする場合、正常にダビングできないことがあります。

デジタル放送の著作権保護について

デジタル放送には著作権保護のために、「録画可能」、「1回だけ録画可能」、「録画禁止」の3種類のコピー制御信号がついています。「録画可能」の番組は無制限で録画およびダビングができます。「1回だけ録画可能」の番組は録画できますが、ダビングすることができません。「録画禁止」の番組は録画できません。

お知らせ

- コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記のホームページをご覧ください。
  - ・社団法人BSデジタル放送推進協会：http//www.bpa.or.jp/
  - ・社団法人地上デジタル放送推進協会：http//www.d-pa.org/

本取扱説明書の内容は2006年4月現在の放送運用に基づいて作成されています。今後の放送運用の変更により、一部内容が異なる場合があります。

他のDVDプレーヤーやDVDレコーダーで再生するには

●DVD-RWまたはDVD-Rの場合、録画またはダビング終了後にファイナライズしてください（143ページ）。

●デジタル放送を録画したディスクを再生する場合、DVDプレーヤー側がVRフォーマット(VRモード)に対応している必要があります。お使いのDVDプレーヤーがVRフォーマット(VRモード)に対応しているかは、取扱説明書などで確認してください。取扱説明書にVRフォーマット(VRモード)対応の記載がない場合、再生できないことがあります。

二重音声を切り換えられるように録画するには

次ページのチャートの「B」になる条件のときに、二重音声放送のまま録画されます。

●二重音声番組は、規格上DVD-RW（ビデオモード)、DVD-R（ビデオモード）に録画できません。「HDD-DVD設定」（146ページ）の「二重音声選択」で選んだ音声で録画されます。

●HDD、DVD-RAM、DVD-RW（VRモード)、DVD-R（VRモード）には、二重音声放送が録画できます。再生時に音声を切り換えることができます。

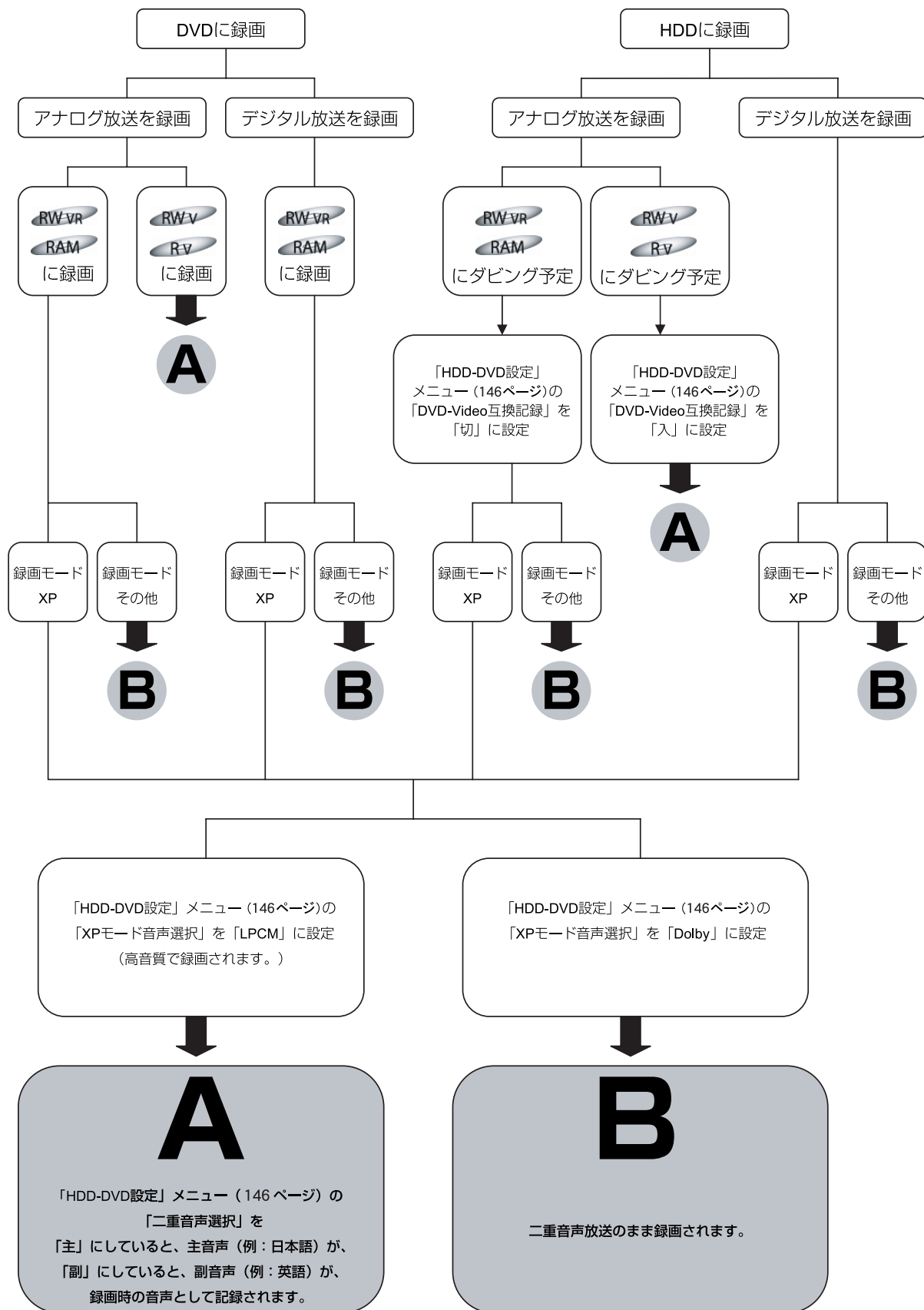
●HDDに録画した二重音声番組はDVD-RW（ビデオモード)、DVD-R（ビデオモード）に高速ダビングできません。レート変換ダビングとなり、「HDD-DVD設定」（146ページ）の「二重音声選択」で選んだ音声でダビングされます。

●XPモードで二重音声番組を録画するときは、「HDD-DVD設定」（146ページ）の「XPモード音声選択」で「Dolby」を選んでください。「LPCM」で録画すると、「二重音声選択」で選んだ音声で録画されます。

●アナログ放送の二重音声番組を視聴中に録画を行った場合、「HDD-DVD設定」（146ページ）の「DVD-Video互換記録」、「XPモード音声選択」、「二重音声選択」の各設定に応じて、視聴中の音声が切り換わることがあります。

●デジタル放送のマルチ音声放送を録画するときは、「TS」モードで録画すると、HDDから再生する際に音声を切り換えることができます。

■録画時の二重音声について

二重音声放送の録画で記録される音声は、録画条件や本機の設定により異なります。
以下のチャートをご覧ください。

録画を予約する

録画したい番組を予約しておくと、予約した番組を自動的に録画できます。さらに、同じ時間帯に放送されている番組も、同時に録画を予約できます。

●録画予約には以下の方法があります。用途に合わせて使い分けてください。

番組の種類 / 予約方法	地上アナログ放送	デジタル放送	外部入力	記載ページ
番組表(EPG)予約	×	○	×	58ページ
Gコード予約	○	×	○	60ページ
マニュアル予約	○	○	○	63ページ
外部入力自動録画	×	×	○	74ページ

●本機ではじめて使用するDVD-RWおよびDVD-Rは、録画する前にフォーマット（初期化）が必要です。「DVDディスクをフォーマットする」（142ページ）をご覧になり、フォーマットしておいてください。

●デジタル放送を受信していない場合は、録画予約する前に必ず日付時刻を設定してください。

録画予約するときの注意点

■録画予約を設定するときの注意点

●デジタル放送を受信していない場合は、録画する前に必ず日付時刻を設定してください。日付時刻が設定されていないと、正しく録画予約できません。また、録画番組一覧が正しく表示されないことがあります。

●時間が連続した番組を同じレコーダーに録画予約すると、前の番組の録画が数10秒早く終了します。

●番組がはじまる約2分前までに録画予約してください。約2分前を過ぎると、録画予約できません。

●同時録画の予約をする場合、録画できる放送と録画モードに制限があります（45ページ）。

■録画予約中の表示について

録画を予約すると、本体の表示窓に時計マークが点灯します。この表示で録画予約が正しく行われたかどうかを確認できます。

■録画予約設定後の注意点

●録画予約の設定後は、本機の電源の入/切に関わらず、予約録画が実行されます。

●デジタル放送の番組によっては、先頭の数秒が録画されない場合があります。

●放送時間が大幅に変更されたとき（例：3時間を超える）には、番組追従できない場合があります。

●通常の録画中に録画予約した時刻になると、通常の録画を停止し、予約した番組の録画を開始します。クイックタイマー録画中は、予約録画よりクイックタイマー録画が優先されます（52ページ）。

●HDDへの録画予約を設定しても、HDDの残量がない場合は録画できません。また、HDDの残量が足りない場合は途中で録画が停止します。録画前にHDDの残量を確認し、残量が足りない場合は、不要な録画番組を消去し、ゴミ箱を空にしてください（123ページ）。

■代行予約録画について

●DVDへの録画予約を設定したときは、DVDディスクの入れ忘れや種類、状態などを確認してください。以下のような原因で録画できない場合は、DVDの代わりにHDDに録画されます（代行予約録画）。この場合、予約録画の実行結果画面に「代行」と表示されます（77ページ）。

- ・DVDディスクがディスクトレイにセットされていない
- ・DVDディスクの残量がない
- ・DVDにディスクプロテクトが設定されている（141ページ）
- ・デジタル放送や外部入力を録画予約したが、ビデオフォーマットのDVD-RWやDVD-R、「1回だけ録画可能」に対応していないDVD-RAM･DVD-RW（VRフォーマット）･DVD-R（VRフォーマット）がディスクトレイにセットされている
- ・フォーマット（初期化）していないDVD-RWやDVD-Rがディスクトレイにセットされている

重複予約について

本機には同じ時間帯の2つの番組を録画予約できます。同時録画予約時は、以下のような動作になります。

例１：
デジタル放送
アナログ放送

・アナログ放送はレコーダー1(R1)に予約してください。
・デジタル放送はレコーダー2(R2)に予約してください。
・レコーダー2 (R2)は「TS」モードで録画されます。

例２：
デジタル放送 1
デジタル放送 2

・「TSモード以外のモードで録画したい」「再生時にとばし観や、いいとこ観したい」「DVDに録画したい」番組をレコーダー1(R1)に予約し、もう一方の番組をレコーダー2(R2)に予約してください。

例３：
アナログ放送 1
アナログ放送 2

・アナログ放送は2番組同時に録画できません。

同じ時間帯に3つ以上の録画予約が重なると、設定画面にメッセージが表示され、3つ目の録画予約はできません。

番組 1
番組 2
番組 3

番組表（EPG）から予約する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　R VR

デジタル放送は、番組表から録画予約をすることができます。録画番組名や番組情報も自動的に録画されます。

番組表（EPG）から録画予約すると、番組の放映時間の変更に対応して録画します（番組追従）。例えば、録画予約した野球中継が延長になった場合、また、次のドラマを録画予約していて、その開始時刻が遅れた場合、どちらの場合も番組に追従して録画します。
（各種設定メニューの「放送時間変更対応」を「する」に設定してください（147ページ）。）

さらに、同じ時間帯に放送されている番組も、同時に録画を予約できます。

番組表の詳細については、「番組表（EPG）からデジタル放送の番組を選ぶ」（21ページ）をご覧ください。

番組表ボタン
決定ボタン
戻るボタン
カーソルボタン

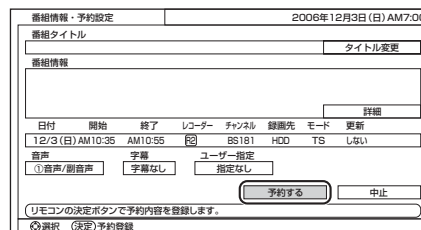
1 デジタル放送の視聴中に［番組表］を押す

視聴中のデジタル放送の種類、サービスに対応した番組表が表示されます。

2 ［カーソル▲▼◀▶］で録画予約したい番組を選び、［決定］を押す

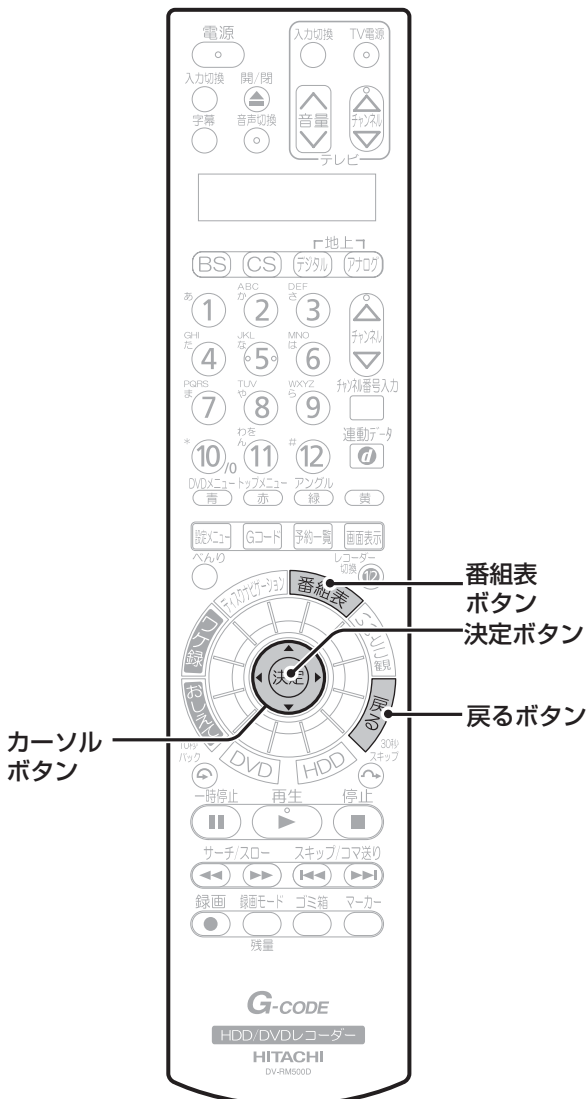
番組予約画面が表示されます。

- 録画予約したい番組が有料番組（ペイ・パー・ビュー）の場合、購入画面が表示されます。番組を購入してください（35ページ）。
- 録画予約したい番組が視聴制限の対象になる場合、制限解除画面が表示されます。視聴制限設定時に登録した暗証番号を入力してください（『接続・設定編』66ページ）。

3 「予約する」が選ばれていることを確認し、［決定］を押す

録画先の選択画面が表示されます。

- この画面から予約内容を変更できます（78ページ）。
- 録画予約が完了すると、本体前面表示窓に時計マークが点灯します。
- 録画モードや録画時間の詳細については、「録画モードと録画時間について」（53ページ）をご覧ください。
- 同時録画を予約する場合、選んだ番組によって設定できる録画モードが異なります（45ページ）。

4 ［戻る］を押す

番組表画面が消えます。

■ レコーダーの設定について

以下の場合にはレコーダー1(R1)に予約してください。

・TSモード以外のモードで録画したい
・再生時にとばし観やいいとこ観がしたい
・DVDに録画したい

同じ時間帯にもう1つのデジタル放送を予約する場合は、レコーダー2(R2)に予約してください。

・レコーダー2(R2)の録画モードは「TS」のみです。
・レコーダー2(R2)の録画先は「HDD」のみです。
・レコーダー2(R2)で録画した番組は、再生時にとばし観、いいとこ観はできません。

お知らせ

- 放送局の都合により、番組内容が変更になることがあります。このような場合は、実際の番組内容と番組表の内容が一致しないことがあります。
- B-CASカードが本機に挿入されていない場合、録画予約した番組は録画されません。また、B-CASカードの条件によっては録画されない場合があります。
- 番組表から録画予約した内容を変更したい場合は、予約一覧画面で変更してください（78ページ）。
- 番組の放送開始時刻が大幅に遅れたとき（例：3時間を超える）、本機が追従できず、番組の先頭部分が録画されない場合があります。
- 番組の放送時間が短縮された場合でも、短縮前の番組の長さで録画される場合があります。

■同じ番組を繰り返し録画するように設定する

録画先がHDDの場合、EPG予約時に、同じ番組を繰り返し録画するように設定できます。

1 58ページの手順3で、[カーソル ▲▼] で放送日（日付）を選び、[決定] を押す

放送日

2 [カーソル ▲▼] で日付を「月－金」または「月－土」、「毎（日、月、…土)」から選び、[決定] を押す

月－金：月～金曜の同じ番組を、以降繰り返し録画します。

月－土：月～土曜の同じ番組を、以降繰り返し録画します。

毎（日、月、…土）：
選んだ曜日の同じ番組を、毎週繰り返し録画します。

- 選んだ番組が放送されない曜日に変更すると、繰り返し録画されません。
- 次回の番組の放送時間が変更になり、他の録画予約と重なると、録画されない場合があります。

お知らせ

- 毎週録画の設定をしても、以下のような放送時間の変更に対応して録画します（番組追従）。
  ・野球中継の延長などで予約録画の開始時刻が遅れた場合
  ・最終回スペシャルなどで放送時間が延びた場合

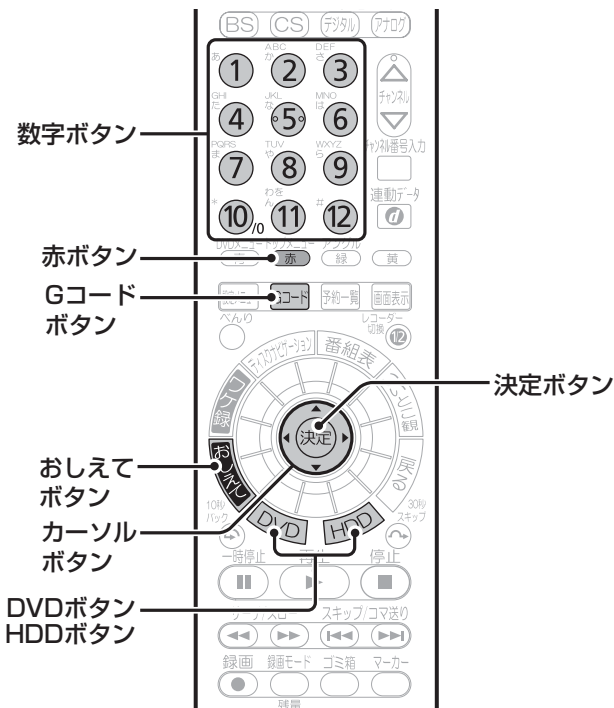
録る

Gコード®で予約する

HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

地上アナログ放送を録画予約するときは、Gコード予約が便利です。新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されているGコード番号を入力すると録画予約ができます。

- 地上アナログ放送の録画予約は自動的に「レコーダー１」に設定されます。
- 地上アナログ放送のGコード予約と同じ時間帯にもう1つのデジタル放送を予約する場合、デジタル放送はレコーダー2（R2）に録画予約してください。
  - ・レコーダー2（R2）の録画モードは「TS」のみです。
  - ・レコーダー2（R2）の録画先は「HDD」のみです。
  - ・レコーダー2（R2）で録画した番組は、再生時にとばし観、いいとこ観はできません。
- Gコード予約は1ヶ月先までの番組を予約できます。Gコード番号がわからない場合は、マニュアル予約をしてください（63ページ）。

Gコード番号の掲載例

■ レコーダーの設定について

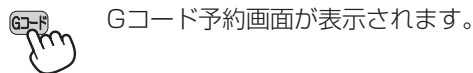
地上アナログ放送は、レコーダー2(R2)には録画予約できません。レコーダー1(R1)に録画予約してください。また、レコーダー2(R2)ではDVDディスクへ録画予約できません。DVDディスクへ録画予約する場合は、レコーダー1(R1)に録画予約してください。

1 ［HDD］または［DVD］を押す

録画先がHDDまたはDVDに設定されます。

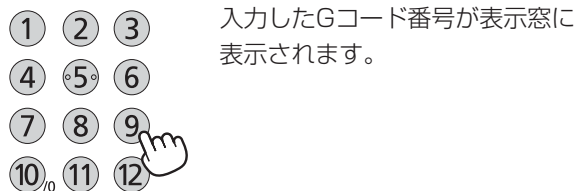
- DVDに録画する場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。

2 ［Gコード］ボタンを押す

Gコード予約画面が表示されます。

- Gコード予約画面は、［おしえてボタン］を押してメニューから表示することもできます（38ページ）。

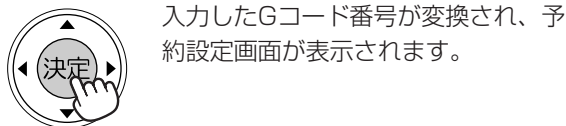
3 数字ボタンを押して、Gコード番号を入力する

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩/0 ⑪ ⑫

入力したGコード番号が表示窓に表示されます。

- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩］を押してください。
- Gコード番号を間違えて入力したときは、［赤／トップメニュー］を押して入力し直してください。

4 ［決定］を押す

入力したGコード番号が変換され、予約設定画面が表示されます。

録る

5 予約内容を確認し、[カーソル▲▼]で「予約する」を選び、[決定]を押す

録画が予約され、本体前面表示窓の🕒が点灯します。

• 続けて録画予約する場合は、手順1～5を行います。

■ Gコード予約を途中で止めるには

Gコード予約中に[Gコード]を押します。

■ 予約録画を途中で停止するには

76ページをご覧ください。

ご注意

- Gコード予約は番組がはじまる約10分前までに完了してください。約10分前を過ぎると、録画予約できません。
- 機能設定メニューの「受信設定」で、
  -「地域設定」の「地域番号」
  -「地上アナログ」の「ガイドCH」
  が正しく設定されていないと、正しく予約録画できません（『接続・設定編』43、45ページ）。

お知らせ

- 録画時間が実際より長め、または短めに設定されることがあります。
- BSアナログ放送の番組をGコード予約することはできません。

■開始／終了時刻を修正する

Gコード番号を入力したときに表示される開始時刻および終了時刻を変更できます。

1 Gコード予約番号の入力後（60ページ、手順4）、[カーソル◀▶]で開始時刻を選ぶ

2 [カーソル▲▼]で「AM」または「PM」を選び、[カーソル▶]を押す

開始時刻の午前／午後が設定され、時間設定欄にカーソルが移動します。

3 [カーソル▲▼]で開始時刻の時間を合わせ、[カーソル▶]を押し、[カーソル▲▼]で分を合わせ、[カーソル▶]を押す

4 [カーソル▲▼]で終了時刻の「AM」または「PM」を選び、[カーソル▶]を押す

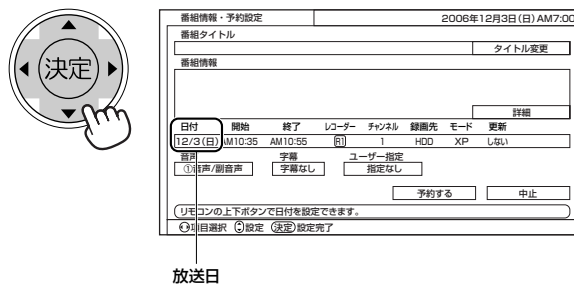
終了時刻の午前／午後が設定され、時間設定欄にカーソルが移動します。

5 [カーソル▲▼]で終了時刻の時間を合わせ、[カーソル▶]を押し、[カーソル▲▼]で分を合わせて、[決定]を押す

■同じ番組を繰り返し録画するように設定する

録画先がHDDの場合、Gコード予約した番組を毎日または毎週録画するように設定できます。

1 Gコード予約番号の入力後（60ページ、手順4）、[カーソル◀▶］で放送日（日付）を選び、[カーソル▲▼］で「月ー金」または「月ー土」、「毎（日、月、…土）」を選び、[決定］を押す

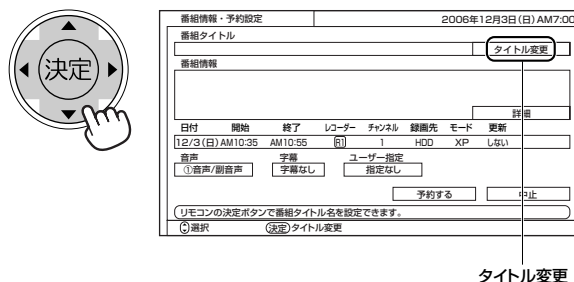
放送日

月ー金：月～金曜の同じ番組を、以降繰り返し録画します。

月ー土：月～土曜の同じ番組を、以降繰り返し録画します。

毎（日、月、…土）：
選んだ曜日の同じ番組を、毎週繰り返し録画します。

■番組にタイトルを付ける

録画予約した番組名を手動で変更できます。ディスクナビゲーション画面（87ページ）やワケ録ナビ画面（90ページ）に表示されるので、再生する録画番組を探すときに便利です。

1 Gコード予約番号の入力後（60ページ、手順4）、[カーソル▲▼◀▶]で「タイトル変更」にカーソルを合わせて[決定]を押し、タイトルを入力する

タイトル変更

• 文字の入力方法については「文字を入力する」（148ページ）をご覧ください。

ご注意

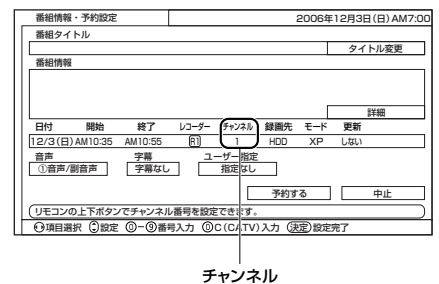
● タイトル変更は、開始／終了時刻の修正など「予約設定」画面で変更できる他の項目を修正したあとで、最後に変更してください。

● ワケ録ナビ画面で同じ番組名フォルダに管理するには、番組名の先頭から全角6文字を一致させてください。

■チャンネルを変更する

各地のテレビ局で番組編成が異なっていたり、一部の地域では異なる放送局の番組に同じGコード番号が掲載されていたりするため、**Gコード予約したチャンネルが実際のチャンネルと異なることがあります。**このような場合は、チャンネルを修正してください。

1 Gコード予約番号の入力後（61ページ、手順5）、[カーソル◀▶］で「チャンネル」を選ぶ

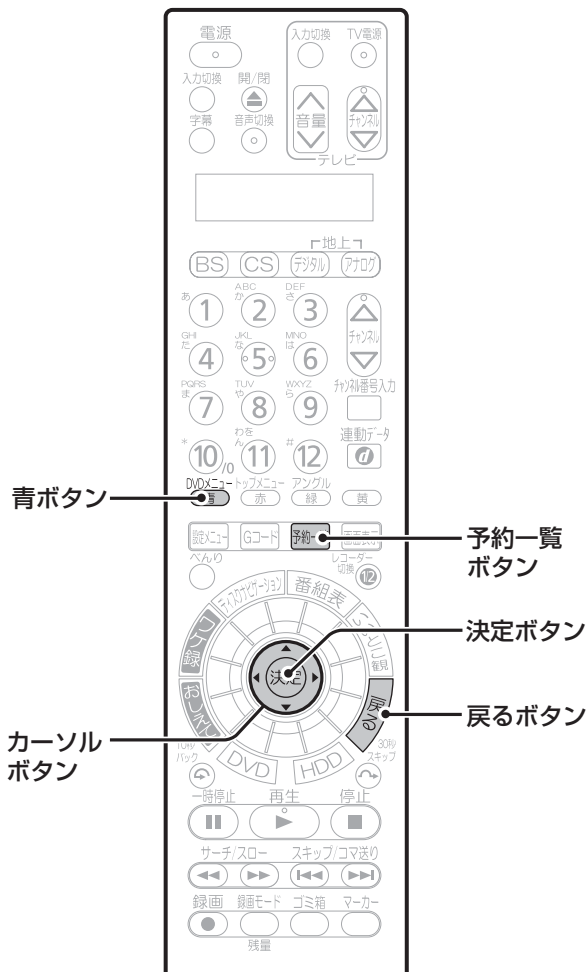
2 [カーソル▲▼］で目的のチャンネルを選ぶ

チャンネル

• 外部機器からタイマー録画する場合（49、74ページ）は、チャンネルを「L1」、「L2」、「L3」に変更してください。

3 [決定］を押す

マニュアル予約する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

録画したい番組の放送日、開始／終了時刻、チャンネルなどを画面上で1つずつ合わせます。マニュアル録画を使っても、同じ時間帯に放送されている番組を、同時に録画予約できます。
マニュアル予約は1ヶ月先までの番組を予約できます。

■ レコーダーの設定について

地上アナログ放送は、レコーダー2(R2)には録画予約できません。レコーダー1(R1)に録画予約してください。また、レコーダー2(R2)ではDVDディスクへ録画予約できません。DVDディスクへ録画予約する場合は、レコーダー1(R1)に録画予約してください。
地上アナログ放送の録画予約と同じ時間帯に、もう1つのデジタル放送を予約する場合、デジタル放送はレコーダー2(R2)に録画予約してください。

- レコーダー2(R2)の録画モードは「TS」のみです。
- レコーダー2(R2)の録画先は「HDD」のみです。
- レコーダー2(R2)で録画した番組は、再生時にとばし観、いいとこ観はできません。

1 番組視聴中に［予約一覧］を押す

予約一覧画面が表示されます。

2 ［青／DVDメニュー］を押す

録画予約の新規設定状態になります。

3 ［決定］を押して、［カーソル▲▼］で放送日を合わせ、［カーソル▶］を押す

放送日が設定され、開始時刻の午前／午後設定欄にカーソルが移動します。

4 ［カーソル▲▼］で開始時刻の「AM」または「PM」を選び、［カーソル▶］を押す

開始時刻の午前／午後が設定され、開始時刻の時間設定欄にカーソルが移動します。

録る

5 ［カーソル▲▼］で開始時刻の時間を合わせ、［カーソル▶］を押す

開始時刻の時間が設定され、開始時刻の分設定欄にカーソルが移動します。

- 昼の12時は「PM0:00」、夜の12時は「AM0:00」を選んでください。
- 開始時刻を現在時刻から2分以内に設定することはできません。

6 ［カーソル▲▼］で開始時刻の分を合わせ、［カーソル▶］を押す

開始時刻の分が設定され、終了時刻の午前／午後設定欄にカーソルが移動します。

7 手順4～6と同様の操作を行って、終了時刻を合わせる

終了時刻を設定すると、レコーダーの設定欄にカーソルが移動します。

- 終了時刻を開始時刻の1分後に設定することはできません。

8 ［カーソル▲▼］で「R1」または「R2」を選び、［カーソル▶］を押す

レコーダーを設定すると、放送の種類の設定欄にカーソルが移動します。

9 ［カーソル▲▼］で放送の種類を選び、［カーソル▶］を押す

放送の種類が設定され、チャンネル設定欄にカーソルが移動します。

設定項目	内　容
表示なし	地上デジタル、アナログ放送を録画予約するときに選びます。
BS	BSデジタル放送の番組を録画予約するときに選びます。
CS	CSデジタル放送の番組を録画予約するときに選びます。
L1、L2、L3	外部機器から録画予約するときに選びます（49、74ページ）。

※ i.LINK入力からは録画予約できません。

- 同時録画を予約する場合、設定できる放送の種類が制限されます（45ページ）。

10 [カーソル▲▼] でチャンネルを選び、[カーソル▶] を押す

チャンネルが設定され、録画先設定欄にカーソルが移動します。

- 数字ボタンでチャンネル番号を直接入力することもできます。地上アナログ放送の場合は2桁、デジタル放送の場合は3桁のチャンネル番号を入力してください。
- CATV（ケーブルテレビ）の場合は、数字ボタンの［⑫］を押してからチャンネル番号を入力します。例えば、「CATVの13チャンネル」を設定する場合は、12→1→3の順で数字ボタンを押します。
- 地上デジタル放送で、チャンネルの枝番入力が必要な場合は、枝番入力欄が表示されます。[カーソル▲▼] で枝番を設定してください。

11 [カーソル▲▼] で録画先を選び、[カーソル▶] を押す

録画先が設定され、録画モード設定欄にカーソルが移動します。

12 [カーソル▲▼] で録画モードを選び、[カーソル▶] を押す

録画モードが設定され、更新設定欄にカーソルが移動します。

設定項目		内　容
HDD（TS）	HDD（LP）	HDDに「TS」、「XP」、「SP」、「LP」、「EP」モードのいずれかで録画します。
HDD（XP）	HDD（EP）	
HDD（SP）		
DVD（XP）	DVD（EP）	DVDに「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」モードのいずれかで録画します。
DVD（SP）	DVD（FR）	
DVD（LP）		

- 録画モードや録画時間の詳細については、「録画モードと録画時間について」（53ページ）をご覧ください。
- 選んだ番組によって設定できる録画モードが異なります。

13 [カーソル▲▼］で更新方法を選び、[カーソル▶］を押す

更新方法が設定され、音声設定欄にカーソルが移動します。

- 録画先をDVDに設定した場合、更新録画は設定できません。
- 更新録画を「する」に設定すると、毎日または毎週同じ番組が更新録画され、前回録画した番組は消去されます。前回録画した番組を消去したくないときは、プロテクトを設定してください（140ページ）。
- 更新録画した番組の再生中に、次の更新録画の開始時刻になった場合、再生中の録画番組は消去されず、新しい番組が追加録画されます。この場合、新しい録画番組が次の更新録画の対象になります。
- 更新録画中にHDDの残量がなくなった場合、前回録画した番組は消去されずに残り、新しい番組の録画が中断されます。
- 更新録画を設定している録画予約の内容を変更すると、別の更新録画予約となり、前回録画した番組は更新対象から外れます。
- HDDへの更新録画で、前回録画した番組が消去された場合、前回録画した番組は再生およびもとに戻せない状態でゴミ箱に移動されます*。HDDの残量を増やすにはゴミ箱から消去してください。

＊ ゴミ箱画面内に赤い文字で「このメッセージを選択して、他の番組と同じように消去してください　残量が増えます」と表示されます。

14 [カーソル▲▼］で音声を選び、[カーソル▶］を押す

音声が設定され、字幕設定欄にカーソルが移動します。

- アナログ放送の場合は、「主音声＋副音声」以外を選ぶことはできません。

15 [カーソル▲▼］で字幕を選び、[カーソル▶］を押す

- 字幕が選択できるのは、録画モードが「TS」の場合のみです。
- アナログ放送の場合は、字幕を「あり」にすることはできません。

16 [カーソル▲▼］でユーザーフォルダを選ぶ

- 録画した番組は指定したユーザーフォルダに分類されます（90ページ）。

17 ［決定］を押して、［カーソル▼］で「予約する」を選び、［決定］を押す

設定した内容で録画予約され、予約一覧画面に戻ります。

• デジタル放送を録画予約した場合は、番組情報も同時に記録されます。

18 ［戻る］を押す

予約一覧画面が消えます。

ご注意

● マニュアル予約では、有料番組（ペイ・パー・ビュー）や視聴制限の対象になる番組は、録画予約できません。

お知らせ

● すでに設定した項目を修正したい場合は、［カーソル◀▶］を押して修正したい項目にカーソルを合わせ、内容を修正してください。

録画予約した時刻になると

●電源が入っている場合、録画予約開始時刻の10秒前に、録画予約開始のメッセージが画面に表示されます。開始時刻になると、録画予約したチャンネルに切り換わり、番組を録画します。予約録画中は、本体の表示窓に赤色の録画マークが点灯します。また、録画を予約したほうのレコーダーボタンの下の録画ランプが点灯します。同時録画を予約した場合、レコーダー1、レコーダー2の両方の録画ランプが点灯します。

●電源が切れている（待機状態の）場合、録画予約した時刻になると番組を録画します。予約録画中は、本体の録画ボタンおよび録画を予約した方のレコーダーボタンの下の録画ランプが点灯し、本体の表示窓に赤色の録画マークが点灯します。同時録画を予約した場合、レコーダー1、レコーダー2の両方の録画ランプが点灯します。録画中は、音声、映像とも出力されません。

●予約録画中にチャンネルを切り換えることはできません。電源が入っている場合、録画していないほうのレコーダーに切り換えると、他のチャンネルに切り換えることができます。

●放送によっては、開始部分と終了部分の数秒間を録画できない場合があります。

●レート変換ダビング中は、レコーダー1（R1）の予約録画は実行されません。

録画予約の便利な機能

ジャンルやキーワードで自動録画する（お気に入り自動録画）

HDD TS HDD VR

お気に入りの番組や好きな俳優などをキーワード・ジャンルとして指定すると、関連する番組を自動で録画予約します。例えば、「サッカー」がキーワードならサッカーの試合や関連のニュース番組を、好きな俳優の名前がキーワードなら出演しているドラマや番組を自動で録画するので、録り逃すことがありません。

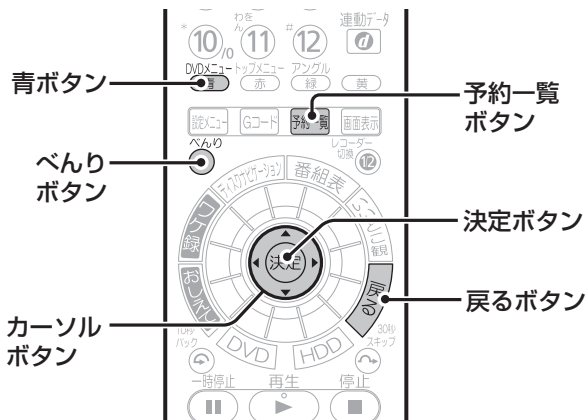
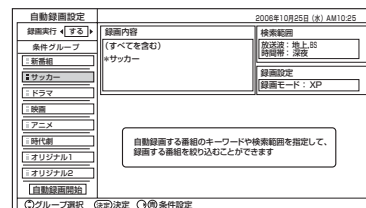
●番組が重複したときは、最も優先順位の高い番組がレコーダー1（R1）に、次に優先順位の高い番組がレコーダー2（R2）に録画されます。詳しくは、「お気に入り自動録画の優先順位について」（73ページ）をご覧ください。

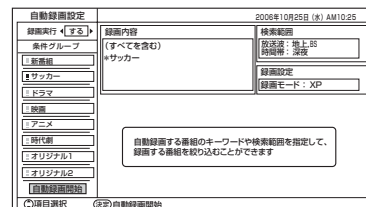
1 ［べんり］を押す

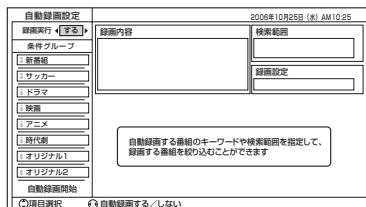
べんりメニューが表示されます。

2 「自動録画」が選ばれていることを確認し、［決定］を押す

自動録画設定画面が表示されます。

3 ［カーソル◀▶］で「録画実行」を「する」に変える

4 ［カーソル▲▼］でお気に入り自動録画したい条件グループを1つ選び、［決定］を押す

• 選んだ条件グループの設定内容や録画条件を確認／変更したいときは、「条件グループの設定内容を変更する」（69ページ）をご覧ください。

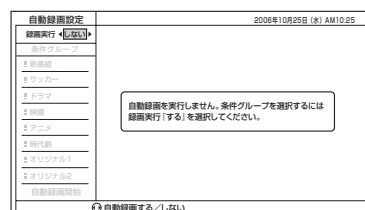
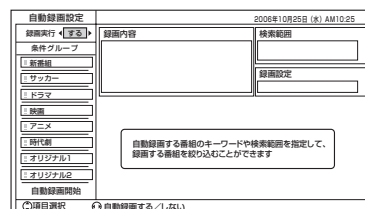
5 ［カーソル▲▼］で「自動録画開始」を選び、［決定］を押す

お気に入り自動録画する番組を検索し、自動録画予約します。

• 録画予約された番組は、［予約一覧］を押すと確認できます。

6 ［戻る］を押す

通常画面に戻ります。

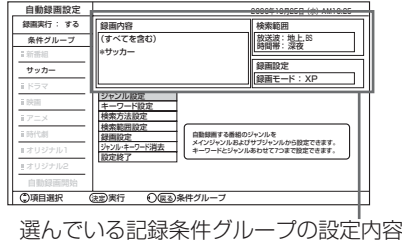
■ お気に入り自動録画を停止するには

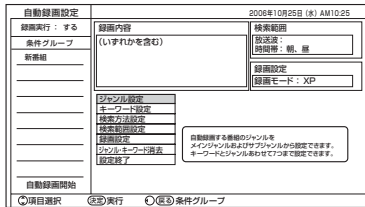
本ページの手順3で「録画実行」を「しない」に変え、［戻る］を押します。

↓

自動録画予約されたすべての番組が、予約一覧から消えます。

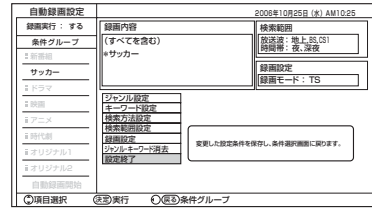
録る

■ 条件グループの設定内容を変更する

1 68ページの手順4で［決定］を押した後で、［青／DVDメニュー］または［カーソル▶］を押す

選んでいる記録条件グループの設定内容

2 ［カーソル▲▼］で設定／変更する設定項目を選び、［決定］を押す

設定項目	内　容
ジャンル設定＊（70ページ）	ジャンルをメインジャンルおよびサブジャンルから設定します。
キーワード設定＊（70ページ）	キーワードを設定／変更します。
検索方法設定（71ページ）	設定されたジャンルおよびキーワードのすべてを含む番組を検索するか、いずれかを含む番組を検索するか、どちらかを選びます。
検索範囲設定＊（71ページ）	検索する放送波や時間帯を変更します。
録画設定（72ページ）	レコーダー1（R1）の録画モードを変更します。（レコーダー2（R2）の録画モードはTSモード固定となり、選択できません。）
ジャンル・キーワード消去（72ページ）	ジャンルやキーワードの消去を行います。

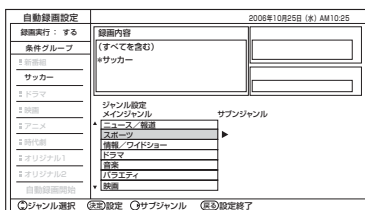
＊ 条件グループを設定するには、ジャンルまたはキーワードのどちらかを設定する必要があります。また、検索範囲も設定する必要があります。

3 すべての設定が終了したら、［カーソル▲▼］で「設定終了」を選び、［決定］を押す

条件グループの設定内容が登録されました。

4 68ページに戻り、手順5、6を行う

■ ジャンルを設定する（69ページ、手順2より）

1 ［カーソル▲▼］で「ジャンル設定」を選び、［決定］を押す

2 ［カーソル▲▼］でメインジャンルからお好みのジャンルを選び、［決定］を押す

3 ジャンルを絞り込む場合は、［カーソル▶］を押し、［カーソル▲▼］でサブジャンルを選び、［決定］を押す

4 ジャンルを追加登録する場合は、手順2と3を繰り返す

5 ジャンルの設定が終了したら、［戻る］を押す

69ページの手順2に戻ります。

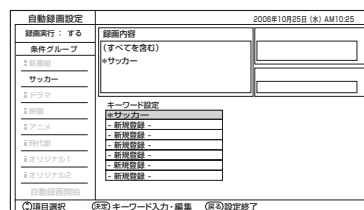
お知らせ

● ジャンル設定で、メインジャンルが違うジャンルを複数設定した場合、検索方法設定で「すべてを含む」を選ぶと、番組が検索できない場合があります。
この場合、検索方法設定を「いずれかを含む」に設定して、もう1度自動録画を実行してください。

■ キーワードを設定する（69ページ、手順2より）

キーワードは、文字を直接入力して設定してください。

1 ［カーソル▲▼］で「キーワード設定」を選び、［決定］を押す

2 ［カーソル▲▼］でキーワード入力欄を選び、［決定］を押す

• すでに設定されているキーワードを変更したい場合は、変更したいキーワードのある入力欄を選んでください。

3 キーワードを入力する

文字の入力方法については、「文字を入力する」（148ページ）をご覧ください。

• キーワードは8文字まで設定できます。9文字以上は登録されません。
• さらにキーワードを設定したい場合は、手順2と3を繰り返します。

4 キーワードの設定が終了したら、［戻る］を押す

69ページの手順2に戻ります。

お知らせ

● 入力したキーワードにスペースが含まれる場合は、正しく検索できないことがあります。このような場合は、番組表のタイトル表示どおりに入力するか、入力文字数を減らしてから、再度検索してください。
● 条件グループ「新番組」の「新」マークは変更できません。

■ 検索方法を変更する（69ページ、手順2より）

1 [カーソル▲▼] で「検索方法設定」を選び、[決定] を押す

2 [カーソル▲▼] で検索方法を選び、[決定] を押す

すべてを含む：設定されたジャンルおよびキーワードのすべてを含む番組を検索します。

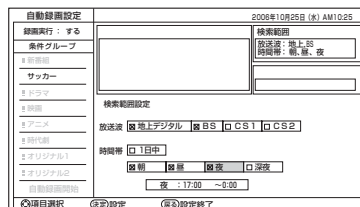
いずれかを含む：設定されたジャンルおよびキーワードのいずれかを含む番組を検索します。

3 [戻る] を押す

69ページの手順2に戻ります。

■ 放送波や時間帯(検索範囲)を変更する（69ページ、手順2より）

1 [カーソル▲▼] で「検索範囲設定」を選び、[決定] を押す

2 [カーソル▲▼◀▶] で放送波／時間帯の項目を選び、[決定] を押して、選択／非選択の設定をする

時間帯

朝：4:00～12:00、昼：11:00～18:00、

夜：17:00～0:00、深夜：23:00～5:00

- [決定] を押すたびに、☒（選択）、□（非選択）が切り換わります。
- 放送波、時間帯はそれぞれ、少なくともどれか1項目選ぶ必要があります。

3 時間帯と放送波の設定が終了したら、[戻る] を押す

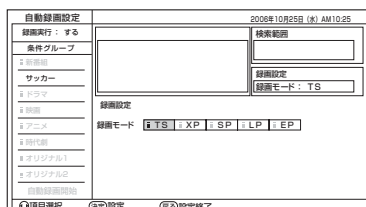
69ページの手順2に戻ります。

録る

■ 録画モードを変更する（69ページ、手順2より）

レコーダー1（R1）の録画モードを選びます。
（レコーダー2（R2）の録画モードはTSモード固定で選べません。）

1 ［カーソル▲▼］で「録画設定」を選び、［決定］を押す

2 ［カーソル◀▶］で設定する録画モードを選び、［決定］を押す

3 ［戻る］を押す

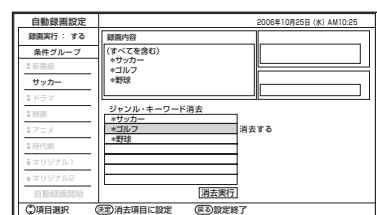
69ページの手順2に戻ります。

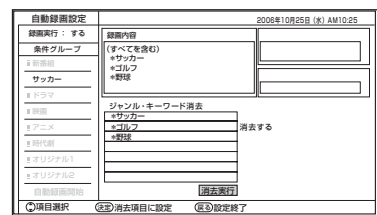
お知らせ

● 録画モードをXP、SP、LP、EPに設定すると、二重音声と字幕の切り換えができません。録画モードをTSに設定するか、番組表で予約してください。
なお、二重音声の録画は「録画時の二重音声について」（56ページ）にしたがって録画されます。

■ ジャンルやキーワードを消去する（69ページ、手順2より）

1 ［カーソル▲▼］で「ジャンル・キーワード消去」を選び、［決定］を押す

2 ［カーソル▲▼］で消去するジャンルまたはキーワードを選び、［決定］を押す

- 選んだジャンルまたはキーワードの右横に「消去する」と表示されます。
- もう1度［決定］を押すと、消去が取り消されます。
- 続けて他のジャンルまたはキーワードを消去することもできます。
- 条件グループ「新番組」の「新」マークは変更できません。

3 ［カーソル▲▼］で「消去実行」を選び、［決定］を押す

69ページの手順2に戻ります。

■ お気に入り自動録画の優先順位について

番組が重複した場合は、以下の優先順位で、最も優先順位の高い番組がレコーダー1（R1）、2番目に優先順位の高い番組がレコーダー2（R2）に録画されます。

- ●開始時間の早い番組
- ●3番組以上の録画時間が重なった場合
  BSデジタル放送 → CSデジタル放送 → 地上デジタル放送
- ●上記の優先順位で録画時間が重なった場合（例：BSデジタル放送で、録画時間が重なった場合）
  チャンネル番号が小さいほうが優先

例（キーワード：サッカー）

ご注意

- ● HDDの残量が少ない場合は、お気に入り自動録画は正しく実行されません。
- ● 録画予約数は、EPG予約、Gコード予約、マニュアル予約、お気に入り自動録画を合わせて最大42となります。
- ● お気に入り自動録画は、条件に該当するすべての番組を必ず録画するわけではありません。

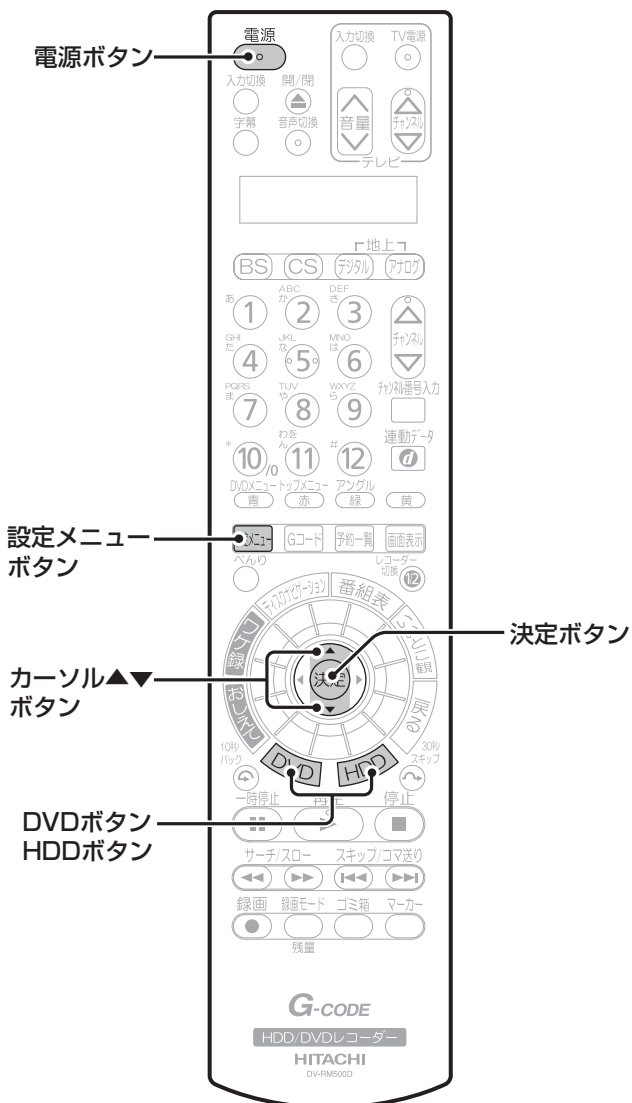
お知らせ

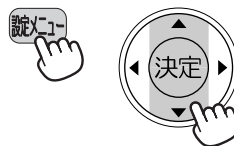
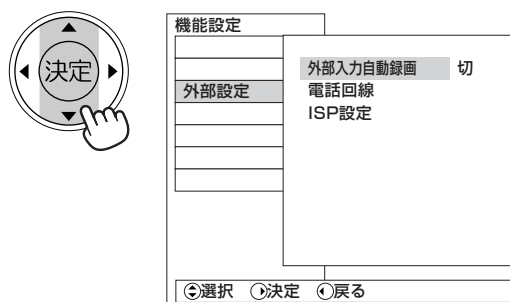
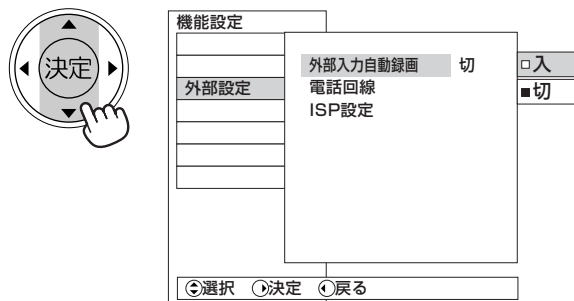
- ● 番組表データの受信が完了しないと、お気に入り自動録画を正しく設定できません。
- ● 未契約チャンネルは、自動的に番組予約から外されます。
- ● お気に入り自動録画で設定される録画予約は、現在時刻から30分後以降の番組です。
- ●「新番組」以外の条件グループの名前は、「ジャンル設定」「キーワード設定」で一番上に設定されているジャンルまたはキーワードが表示されます。
- ● 条件グループを変更して「自動録画開始」を選び、［決定］を押すと、変更前の条件グループで設定された自動録画予約は取り消され、新しい条件グループの自動録画予約が設定されます。
- ● 自動録画予約設定後に急な番組変更があった場合などは、録画されない場合があります。（例えば、ジャンル設定で「野球」と「ドラマ」を設定して自動録画予約された野球放送が雨天で中止になり、代わりにドラマが放送された場合、代わりに放送されたドラマは自動録画されません。）
- ● お気に入り自動録画で予約された番組は、予約一覧画面で確認＊[1]、取り消し＊[2]できます。お気に入り自動録画の予約は、予約一覧画面にうすい青色で表示されます。「録画予約の内容を確認する」（77ページ）、「録画予約を取り消す」（78ページ）をご覧ください。
  ＊1 予約一覧画面に表示されるのは、（当日を含めて）3日分です。
  ＊2 取り消した予約の時間帯に別番組が自動録画予約されることはありません。

予約待機できる外部機器を接続して録画する（外部入力自動録画）

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

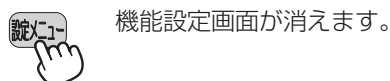
CSチューナーなどの予約待機ができる外部機器を、本機背面のS1映像入力端子または映像・音声入力1端子に接続すると、接続した外部機器と連動させて本機に録画することができます。

● 外部機器の接続方法については、『接続・設定編』の「ビデオデッキと接続する」（29ページ）をご覧ください。
● あらかじめ外部設定メニューの「外部入力自動録画」を「入」に設定しておいてください（右欄）。

■本機の設定を変更する

1 [設定メニュー] を押して、[カーソル▲▼] で「外部設定」メニューを選び、[決定] を押す

2 [カーソル▲▼] で「外部入力自動録画」を選び、[決定] を押す

3 [カーソル▲▼] で「入」または「切」を選び、[決定] を押す

設定項目	内　容
入	外部機器と連動して本機に録画します。
切	外部入力自動録画を設定しません。

外部入力自動録画機能が設定されます。

4 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

● i.LINK入力からの録画予約はできません。

録る

■録画準備する

1 接続した外部機器で番組を予約し、待機状態にする

外部機器の取扱説明書を参照してください。

2 本機の録画先を選ぶ

録画先がHDDまたはDVDに設定されます。

• DVDに録画する場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。フォーマットされていないDVDディスクをセットした場合は、フォーマットの実行画面が表示されます（142ページ）。

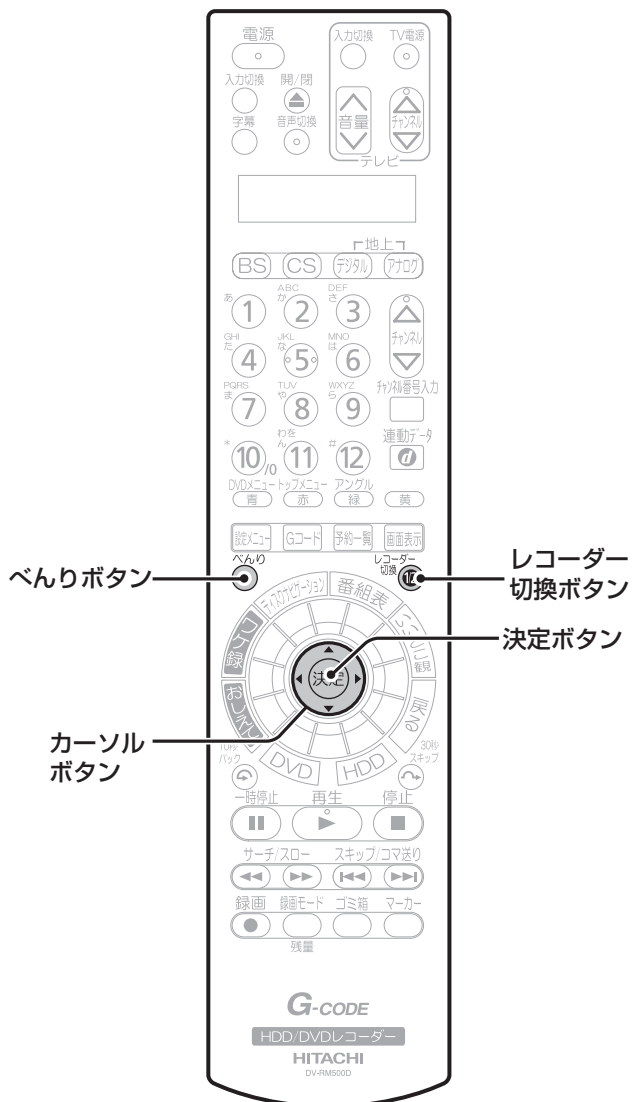
3 ［電源］を押す

本機の電源が切れ、本体の表示窓に「EXT」のメッセージが表示されます。

4 接続した外部機器から映像信号が入力されると、本機の録画が始まる

お知らせ

- 外部機器を接続して録画する場合、同時録画はできません。
- 本機能は外部機器を外部入力1端子に接続しているときのみ有効になります。
- 接続した外部機器の映像信号が入力されてから本機の録画を開始するため、番組のはじまりの約1分間が録画されないことがあります。
- 接続した外部機器の予約待機中または録画中に、本機で設定した録画予約開始時刻になった場合は、本機で設定した録画予約が優先されます。

録画予約を途中で中止する

1 予約録画している方のレコーダーに切り換える

2 予約録画中に、［べんり］を押す

べんりメニューが表示されます。

3 ［カーソル◀▶］でべんりメニューの2ページ目を表示し、［カーソル▲▼］で「予約録画中止」を選び、［決定］を押す

予約録画が停止されます。

- HDDに録画していた場合は、それまで録画した内容がHDDに保存されます。

■ 同時録画を予約していたときは

現在選ばれているレコーダーで予約した録画のみが停止します。もう片方の録画も停止したいときは、［レコーダー切換］を押して停止するレコーダーを選び、手順2～3の操作を行ってください。

録画予約を修正する

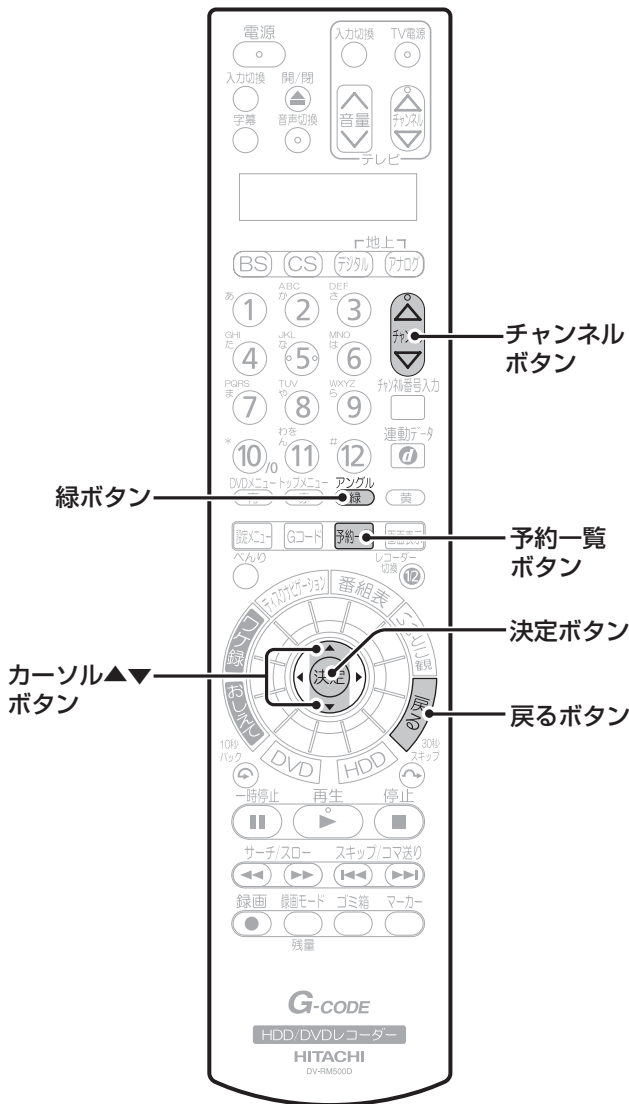
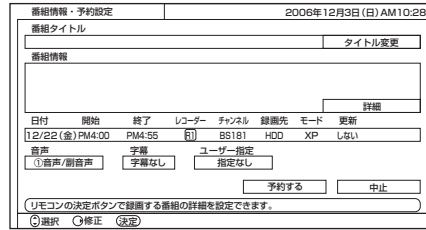
録画予約の内容を確認する

1 ［予約一覧］を押す

予約一覧画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で確認したい録画予約を選び、［決定］を押す

自動録画予約（68ページ）は、うすい青色で表示されます。

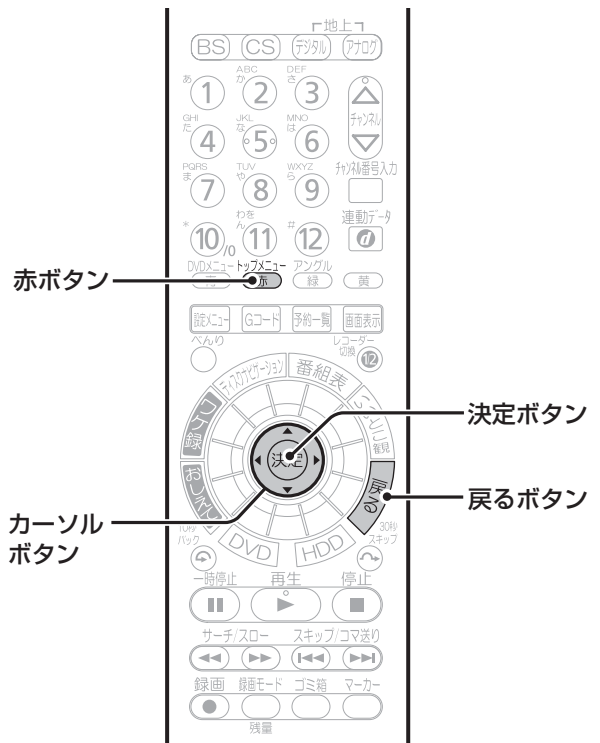
• ［チャンネル△▽］を押すと、画面がスクロールします。

3 録画予約の内容を確認する

• 地上アナログ放送をGコード予約またはマニュアル予約した場合、タイトル変更を行わないと番組名は表示されません（62ページ）。
• ［緑／アングル］を押すと、予約録画の実行結果画面に切り換わります。［緑／アングル］を押すたびに、実行結果画面と予約一覧画面が交互に切り換わります。
• 実行結果画面の「実行結果」欄の表示の意味は以下のとおりです。

取消：予約録画開始時にクイックタイマーによる録画が行われていた場合、または本機の電源プラグが抜けていた場合
中断：録画中にべんりメニューから録画を中断した場合
失敗：ディスクが一杯になったり、なんらかの異常があった場合
消去：番組表から予約した番組の編成が変更になった場合
代行：代行予約録画が正常に実行された場合（57ページ）
実行：正常に実行された場合
自動：お気に入り自動録画が正常に実行された場合
フル：HDDの残量がなくなった場合

4 ［戻る］を2回押す

予約一覧画面が消えます。

録画予約の内容を変更する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

1 予約一覧画面（77ページ）で［カーソル▲▼］を押して内容を変更したい項目を選び、［決定］を押す

予約設定画面が表示されます。

2 録画予約の内容を変更する

変更方法については、「マニュアル予約する」（63ページ）をご覧ください。

3 ［戻る］を押す

予約一覧画面が消えます。

お知らせ

- 予約設定画面の「タイトル変更」は、開始／終了時刻の修正など「予約設定」画面で変更できる他の項目を修正したあとで、最後に変更してください。
- お気に入り自動録画で設定した録画予約の内容は変更できません。

録画予約を取り消す

1 予約一覧画面（77ページ）で［カーソル▲▼］を押して取り消したい項目を選び、［赤／トップメニュー］を押す

取り消し実行の確認画面が表示されます。

2 ［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す

選んだ項目が予約一覧画面から消えます。

3 ［戻る］を押す

予約一覧画面が消えます。

情報をテレビ画面に表示する

■録画情報を表示する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

録画中に録画している番組のチャンネル情報や録画状態を確認することができます。

録画情報表示画面

① 録画しているレコーダーの表示
R1：レコーダー1
R2：レコーダー2

② 録画している放送局のロゴ、種類、チャンネル番号の表示

③ 音声の種類の表示

④ 録画先のディスクの種類、録画マーク、録画モードの表示

1 録画中に［画面表示］を押す

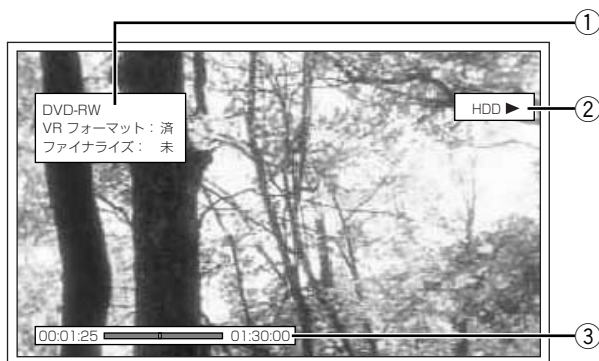
録画情報が表示されます。

• 録画先のディスクや放送の種類によって表示される内容は異なります。

■再生情報を表示する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V　V　CD　VCD

録画した番組やDVDの再生中に、再生情報やDVD情報を確認することができます。

再生情報表示画面

① DVDの録画番組を再生しているときの表示
DVDディスクの種類やフォーマット、ファイナライズ状態が表示されます。

② HDDの録画番組を再生しているときの表示

③ 録画番組の総再生時間に対する現在の再生時間、再生ポイントの表示

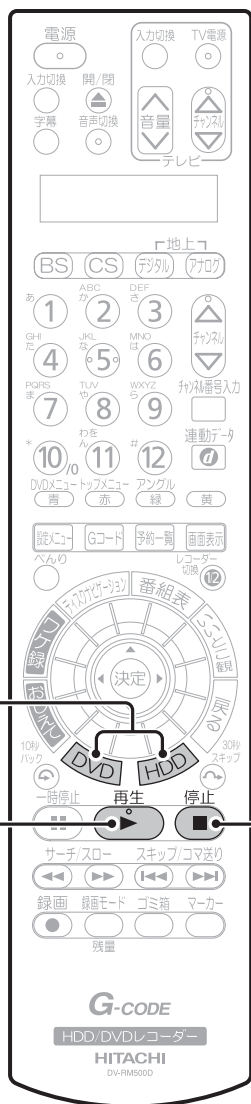
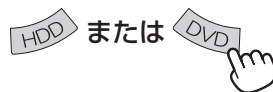
1 再生中に［画面表示］を押す

再生情報やDVD情報が表示されます。

• 再生中のディスクによって表示される内容は異なります。

録る

録画した番組や市販のディスクを再生する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V　V　CD　VCD

1 ［HDD］または［DVD］を押す

使用するディスクがHDDまたはDVDに切り換わります。

- DVDを再生する場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。

2 ［再生］を押す

HDDまたはDVDに録画されている最新の番組が再生されます。

- 前回再生していた録画番組がある場合は、その番組が再生されます。
- 音楽用CD、ビデオCDの場合は、ディスクの先頭から再生されます。
- DVDビデオの場合は、メニュー画面が表示されることがあります。このような場合は、メニューを選んで再生してください。

■ 再生を停止するには

［停止］を押します。

ご注意

- 本機以外で録画したDVD-Rは、必ずその機器でファイナライズしてから再生してください。ファイナライズしないで再生すると、もとの機器で使えなくなることがあります。

観る

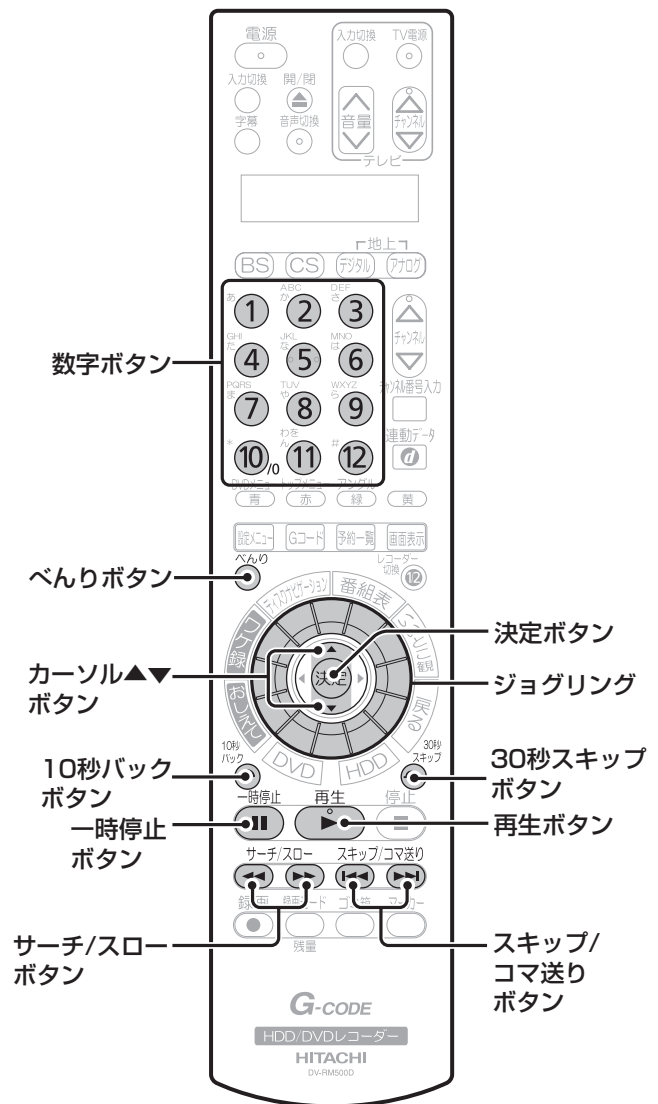
お知らせ

- HDDとDVDを同時に再生することはできません。
- DVDを再生するときは、DVDディスクの読み込みに多少時間がかかります。
- ［再生］を押してVRフォーマットのDVDを再生した場合、はじめの1番組しか再生されません。他の録画番組を再生したい場合は、ディスクナビゲーション画面を表示させて、再生したい番組を選んでください。

  「HDD-DVD設定」（146ページ）の「連続再生」を「する」に設定すると、VRフォーマットのDVDに録画されているタイトルのうち、選択したタイトルから日付の新しいタイトルへ順番に連続再生することができます。
- 他のDVDレコーダーやDVDカメラで録画したDVDディスクは、本機で再生できない場合があります。
- 二重音声で録画した番組は、リモコンの［音声切換］で主音声／副音声を切り換えることができます。ただし、「HDD-DVD設定」（146ページ）の「DVD-Video互換記録」を「入」に設定して録画した場合は、主音声または副音声のみで再生されます。
- 録画番組の再生中に［ディスクナビゲーション］を押すと、再生が停止されます。
- 録画番組の再生中に、テレビ放送へ切り換えることはできません。いったん再生を停止してから、テレビ放送に切り換えてください。
- 以下のような場合は、録画番組を再生できません。

・番組表の表示中（21ページ）

・静止画の再生中（105ページ）

再生中の操作と再生の便利な機能

お知らせ

- 通常の再生および1.5倍速再生、DVDビデオの早送り（第1段階のみ）以外の操作では音が出ません。
- 録画した番組によっては、サーチなどが正常に動作しない場合があります。
- DVDビデオには、サーチやスキップなどの操作が禁止されているものがあります。
- ビデオCDでは逆方向へのスロー再生およびコマ戻しができません。
- DVDビデオ、ビデオCD、音楽用CDの再生中は、以下の操作ができません。

  ・1.5倍速再生

  ・マニュアルスキップ
- いいとこ観再生中は一時停止以外の操作ができません。また［スキップ／コマ送り］を押すと、次のいいとこ観ポイントに移動します。

■一時停止する

HDD TS HDD VR RAM RW VR RW V R VR R V V CD VCD

1 再生中に［❚❚一時停止］を押す

一時停止します。

2 ［▶ 再生］または［❚❚一時停止］を押す

再生を再開します。

- 一時停止してから約10分経過すると、一時停止が自動的に解除されます（DVDビデオ、ビデオCD、音楽用CDを除く）。

■早送り／早戻しする（サーチ）

HDD TS HDD VR RAM RW VR RW V R VR R V V CD VCD

1 再生中に［サーチ／スロー］を押す

早戻し／早送りします。

- ［サーチ／スロー］を押すたびに、5段階で速くなります（ディスクによっては切り換わらない場合があります）。
- DVDビデオの早送り1段階では音が出ます（2～5段階では音が出ません）。

■ 通常の再生に戻すには

もう一度［再生］を押します。

■チャプターを頭出しする（スキップ）

HDD TS HDD VR RAM RW VR RW V R VR R V V CD VCD

1 再生中に［スキップ／コマ送り］を押す

［▶▶❙］を押すと、次のチャプターの先頭から再生します。

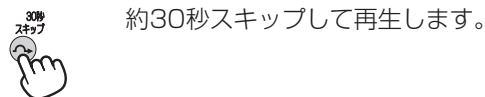
［❙◀◀］を押すと、再生中のチャプターの先頭から再生します。

- チャプターがない場合は、［▶▶❙］を押してもスキップしません。［❙◀◀］を押すと録画番組の先頭から再生します。
- 音楽用CDやビデオCDの場合は、前後のトラックを再生します。
- チャプターについては、「録画した番組を途中で区切る（チャプター作成）」（127ページ）をご覧ください。

■30秒先に飛ばす（30秒スキップ）

HDD TS HDD VR RAM RW VR RW V R VR R V

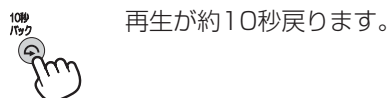
1 再生中に［30秒スキップ］を押す

約30秒スキップして再生します。

- 30秒スキップの時間は固定です。任意の時間に変更することはできません。

■再生を少し戻す（10秒バック）

HDD TS HDD VR RAM RW VR RW V R VR R V

1 再生中に［10秒バック］を押す

再生が約10秒戻ります。

- 10秒バックの時間は固定です。任意の時間に変更することはできません。

■数字ボタンでチャプターを指定する（ジャンプ）

1 DVDビデオの再生中に[①]～[⑨]を押す

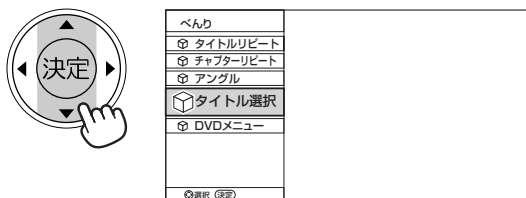
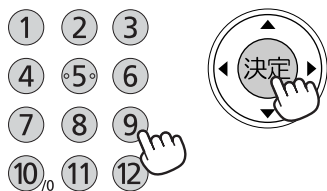
押した数字に該当するチャプターにジャンプします。

■再生するタイトルを選ぶ

1 DVDビデオの再生中に[べんり]を押す

べんりメニューが表示されます。

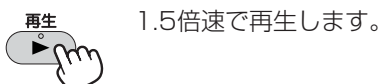
2 ［カーソル▲▼］で「タイトル選択」を選び、［決定］を押す

タイトル選択画面が表示されます。

3 数字ボタンでタイトル番号を入力し、［決定］を押す

選んだタイトルが先頭から再生されます。

■1.5倍速で再生する

HDD TS

1 「TS」モードで録画した番組の再生中に［▶再生］を押す

1.5倍速で再生します。

■ 通常の再生に戻すには

もう一度［再生］を押します。

■スロー再生する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V　V　VCD

1 一時停止中に［サーチ／スロー］を押す

［▶▶］を押すと、スロー再生します。

［◀◀］を押すと、逆方向にスロー再生します。

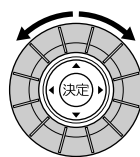
- ［▶▶］を押すたびに、3段階で早くなります。
- ビデオCDでは逆方向へのスロー再生はできません。

■ 通常の再生に戻すには

もう一度［再生］を押します。

■1コマずつ再生する（コマ送り／コマ戻し）

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V　V　VCD

1 一時停止中にジョグリングを回す

前後のコマに切り換わります。

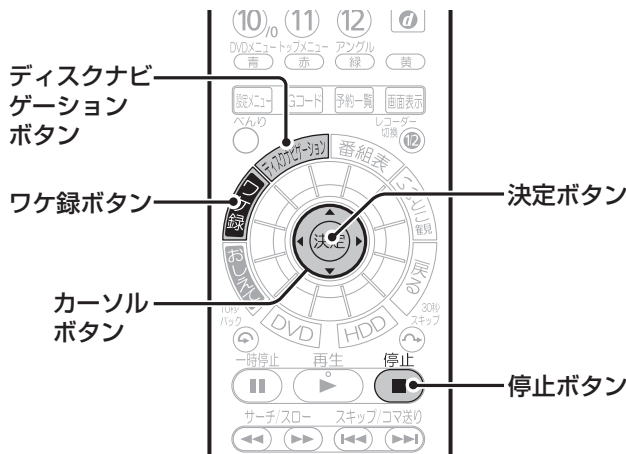
- ［スキップ／コマ送り］ボタンでも1コマずつ再生できます。
- 「TS」モードでは、HDD／DVDに録画した番組のコマ戻しは、約0.5秒単位となります。
- コマ送り／コマ戻し操作を交互に行うと、約1秒程度正方向へ映像が進む場合があります。
- ジョグリングのクリック感と、コマ送り／コマ戻しの動作は一致しません。また、速く回すと動作しませんので、ゆっくり回してください。
- ビデオCDでは逆方向へのコマ戻しはできません。

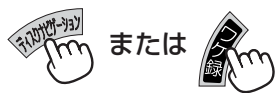
■ 通常の再生に戻すには

もう一度［再生］を押します。

繰り返し再生する（リピート再生）

■HDDの録画番組をリピート再生する

HDD TS HDD VR

1 ［ディスクナビゲーション］または［ワケ録］を押す

 または

ディスクナビゲーション画面またはワケ録ナビ画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼◀▶］でリピート再生したい番組を選び、［決定］を押す

3 ［カーソル▲▼］で「リピート再生」を選び、［決定］を押す

選んだ番組がリピート再生されます。

- 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。

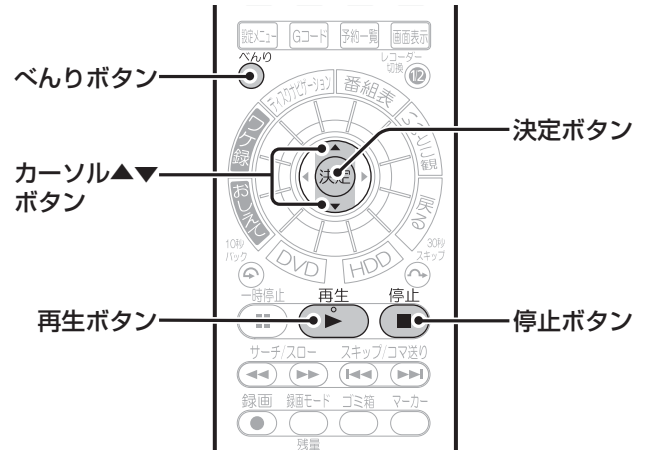
■ 通常の再生に戻すには

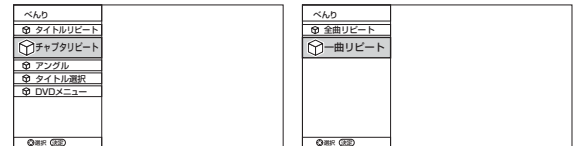
［停止］を押してから［再生］を押します。

お知らせ

● ディスクナビゲーション画面については「ディスクナビゲーションを使って録画した番組を再生する」（87ページ）を、ワケ録ナビ画面については「ワケ録ナビを使ってHDDに録画した番組を再生する」（92ページ）をご覧ください。

■DVDビデオやCDをリピート再生する

RAM RW VR RW V R VR R V V CD VCD

1 DVDビデオやCDの再生中に［べんり］を押す

2 ［カーソル▲▼］でリピート再生の方法を選び、［決定］を押す

DVDビデオ再生中

ビデオCD・CD再生中

設定項目	内　容
タイトルリピート	タイトル単位でリピート再生します。
チャプタリピート	チャプター単位でリピート再生します。
全曲リピート	CDに記録されているすべての曲をリピート再生します。
一曲リピート	再生中の曲だけをリピート再生します。

選んだ方法でリピート再生されます。

- 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。
- DVDビデオの再生中にリピート再生した場合は、［再生］を押してから［停止］を押すとリピート再生が解除されます。

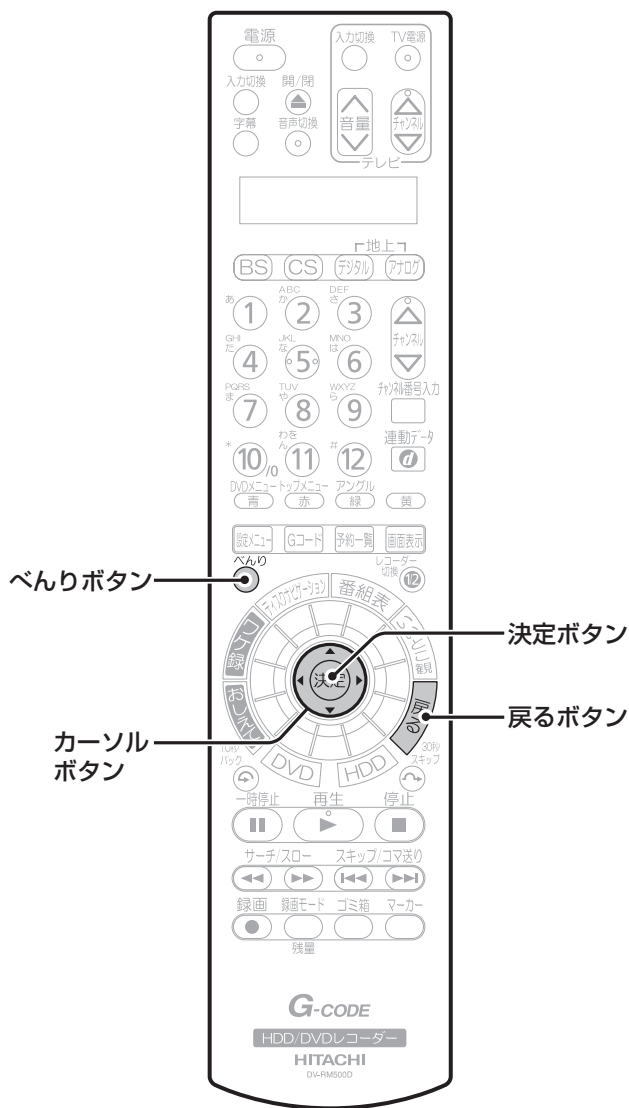
■ 通常の再生に戻すには

［停止］を押してから［再生］を押します。

観る

録画番組の途中から再生する（タイムナビ）

HDD TS HDD VR RAM RW VR RW V R VR R V

再生中の番組の録画開始時刻から録画終了時刻の間で、見たい時刻を選んで再生することができます。

1 再生中に［べんり］を押す

2 ［カーソル ▲▼］で「タイムナビ」を選び、［決定］を押す

3 ［カーソル ◀▶］を押して見たい時刻を選ぶ

ボタンを短く押すと、1分単位で時刻が切り換わります。
ボタンを押し続けると、5分単位で時刻が切り換わります。
選んだ時刻の場面が表示されます。

- ［戻る］を押すと、一時停止した場面に戻って再生されます。

4 ［決定］を押す

選んだ時刻から再生されます。

- 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 録画時間が1分以内の録画番組は、再生する時刻を選ぶことはできません。
- 本機以外の録画機器で録画したDVDディスクでは、タイムナビが正しく動作しないことがあります。
- プレイリスト再生中はタイムナビを選ぶことができません。
- 以下のDVDディスクでは、タイムナビが動作しません。
  －ファイナライズしたDVD-RW（VRフォーマット）
  －ファイナライズしたDVD-RW（ビデオフォーマット）
  －ファイナライズしたDVD-R（ビデオフォーマット）

本編以外のシーンを自動的にとばす（とばし観）

HDD TS HDD VR

再生中、本編以外のシーンだけをとばして観ることができます。

「HDD-DVD設定」（146ページ）の「とばし観」の「再生設定」によって、以下のように再生方法が変わります。

スキップ：本編以外のシーンが自動的にスキップされます。

サーチ：本編以外のシーンになると、次の本編まで自動的に早送りされます。

■ とばし観ができるように録画するには

- ●録画前に、「HDD-DVD設定」（146ページ）の「とばし観」の「録画設定」を「する」にします。（初期設定は「しない」になっています。）
- ●レコーダー1（R1）でHDDに録画します。
- ●15分以上録画してください。

とばし観のできる録画番組には、 または が表示されます（87ページ）。

ご注意

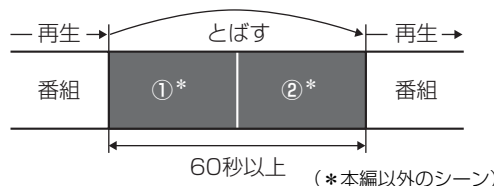
- ● BSデジタル、110度CSデジタル放送の番組や、外部入力につないだ機器から録画した番組中の本編以外のシーンは、とばすことができません。
- ● 番組開始の2分間と終了前2分間は、とばし観再生ができません。
- ● 録画時間が15分未満の番組では、とばし観再生ができません。
- ● とばし観録画中は、とばし観再生ができません。
- ● 1.5倍速再生中は、とばし観再生ができません。
- ●「とばし観」の「録画設定」を「する」に設定して録画した番組で、番組分割、チャプター作成、チャプター消去、部分消去の編集を行うと、とばし観再生ができなくなります。
- ● とばし観は、すべての本編以外のシーンを検出することを保証するものではありません。番組によっては、本編以外のシーンを正しく検出できないことがあります。
- ● 番組によっては、とばし観が正しく動作しないことがあります。
- ● 録画開始部分や終了部分では、正しくとばせないことがあります。
- ● 本編以外のシーンの途中からとばしたり、本編以外のシーンの途中で再生に戻ることがあります。
- ● 番組予告がとばされることがあります。
- ● 番組および電波の状態によっては、番組の一部がとばされることがあります。
- ● 録画中に電源コードが抜かれたり、停電が起きたりすると、とばし観は正しく動作しません。
- ●「とばし観」の「録画設定」を「する」に設定してNHKの番組を録画すると、 または が表示され、番組の途中でとばし観再生することがあります。

■ とばし観でとばした部分を再生したいときは

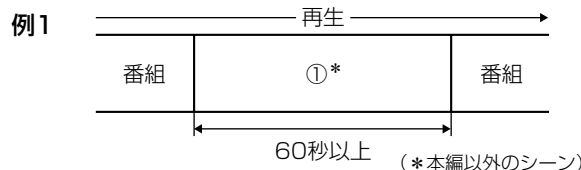
［◀◀ サーチ／スロー］を押して早戻ししてから、［▶ 再生］を押してください。または［10秒バック］を押してください。

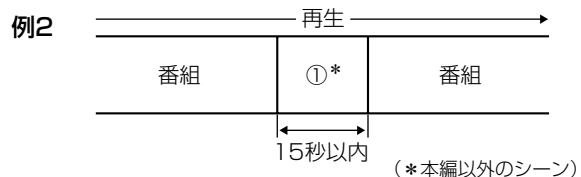
■とばし観のしくみ

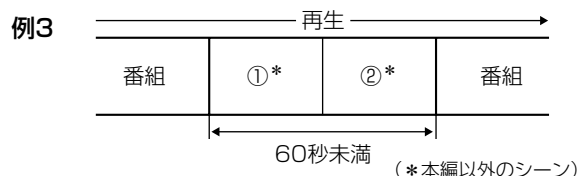
テレビ放送は、ふつう、番組と番組の間に複数の本編以外のシーンが続きます。とばし観は、録画するときに番組と本編以外のシーンの切り換わる点、およびステレオ放送とモノラル／二重音声放送の違いを検出し、再生時に本編以外のシーンをとばします。

とばし観で正しくとばされる例

- 本編以外のシーンが2本、合わせて60秒以上続くと正しくとばされます。

とばし観で正しくとばされない例

例1

- 1本が60秒以上の本編以外のシーンはとばされません。（テレビショッピングなど）

例2

- 1本が15秒以内の本編以外のシーンはとばされません。

例3

- 2本以上続いても60秒未満の本編以外のシーンはとばされません。

観る

ディスクナビゲーションを使って録画した番組を再生する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

HDDまたはDVDに録画した番組をディスクナビゲーション画面でサムネイルまたはリスト一覧表示して、そこから見たい番組を選んで再生できます。

HDDの場合、新しい番組から順に表示されます。DVDの場合、ディスクに記録した順に表示されます。どちらも、表示順を変更することはできません。

ディスクナビゲーション画面では、録画番組の再生の他に、下記のような操作ができます。
べんりメニューより下記を選択してください。

- 録画した番組を分割する（125ページ）
- チャプターを設定する（127ページ）
- 録画番組のタイトルを入力する（139ページ）
- 録画した番組を消去できないようにプロテクト（保護）する（140ページ）
  また、［赤／トップメニュー］を押すと、録画した番組を消去できます。
- HDDに録画した番組をゴミ箱に移動する（121ページ）
- DVDに録画した番組を消去する（124ページ）

サムネイル表示

リスト一覧表示

① ディスク表示

現在操作しているディスクが表示されます。HDDのときは「HDD」、DVDのときは「DVD」と表示されます。

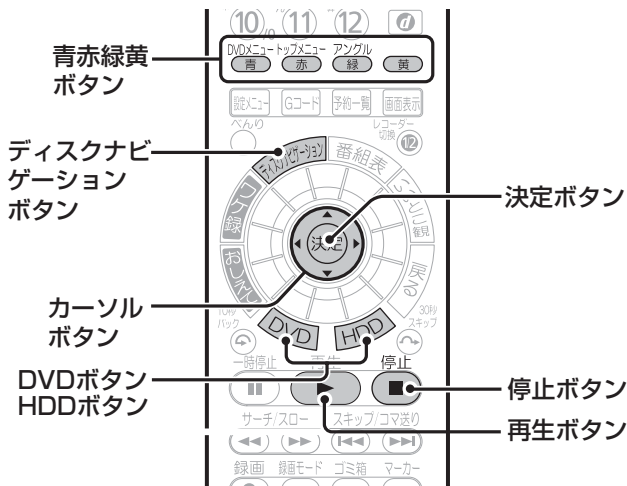
② スクロールバー

録画されている番組が1画面に表示しきれない場合は、［チャンネル△▽］を押して画面をスクロールさせることができます。

③ 録画番組

録画した番組の日付、開始時刻、録画時間、チャンネル、録画モード、番組タイトルが表示されます。
「サムネイル表示」の場合は、録画した番組の画像が表示されます。番組にカーソルを合わせると、番組の先頭から再生されます。
「リスト一覧表示」の場合は、日付欄に更新録画（66ページ）の情報が表示されます。

また、録画した番組の状態に応じて、以下のようなアイコンが表示されます。

- NEW：録画してから、まだ一度も再生していない番組です。DVDのときは表示されません。
- ：消去できないようにプロテクトされている番組です（140ページ）。
- SKIP：チャプターを設定した番組です（127ページ）。
- ムーブ：HDDからDVDにダビングすると移動（ムーブ）となる番組です。
- COPY：DVDからHDDにダビングできない番組です。
- DATA：「とばし観」ができる番組です。
- DATA：「いいとこ観」ができる番組です。
- ：「とばし観」と「いいとこ観」ができる番組です。

観る

1 [HDD] または [DVD] を押す

 または

使用するディスクがHDDまたはDVDに切り換わります。

• DVDを再生する場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。

2 [ディスクナビゲーション] を押す

ディスクナビゲーション画面が表示されます。

3 [カーソル▲▼◀▶] で見たい番組を選び、[決定] を押す

再生メニューが表示されます。

• 番組を選んでから [再生] を押すと、前回停止した位置から再生します。

4 [カーソル▲▼] で再生方法を選び、[決定]を押す

選んだ番組が再生されます。

• 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。
• ［緑／アングル］を押すたびに、サムネイル表示とリスト一覧表示が切り換わります。
• 「TS」モードで録画した番組を選んで［青／DVDメニュー］を押すと、番組説明が表示されます。
• ［黄］を押すと、ゴミ箱画面が表示されます。
• 消去したい番組を選んで［赤／トップメニュー］を押すと、選んだ番組をゴミ箱へ移動できます（121ページ）。
• DVDに録画した番組は、一度も見たことがない番組かどうかの区別はなくなりますので、一度も見たことがない番組で「続きから再生」を選んだ場合、先頭から再生します。

■ 再生を停止するには

［停止］を押します。

お知らせ

● 録画中の番組はディスクナビゲーション画面に表示されません。
● 番組タイトルはデジタル放送の番組のみ表示されます。アナログ放送および外部入力で録画した番組では、番組タイトルを手動で変更しないと表示されません。
● サムネイル表示では、更新録画（66ページ）の情報が表示されません。更新録画情報はリスト一覧表示で確認してください。
● 録画中はサムネイルの画像は動画で再生されません。また、一度も再生していない番組は、サムネイル画像が表示されません。
●「HDD-DVD設定」（146ページ）の「サムネイル作成時間」を「0分」に設定していても、実際のサムネイル画像は録画番組の開始から約5秒後の画面になります。
● 一度も再生していない録画番組は、サムネイル表示するまでに時間がかかります。
● ディスクナビゲーション画面に表示される番組の順番は、HDDの場合とDVDの場合では異なります。
　・HDDでは、新しい番組から順に表示されます。
　・DVDでは録画した順に表示されます。

サムネイル表示の画像をお好みの場面に変更する（サムネイル設定）

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR

ディスクナビゲーション画面のサムネイル表示の画像を、お好みの場面に変更できます。

サムネイル設定画面

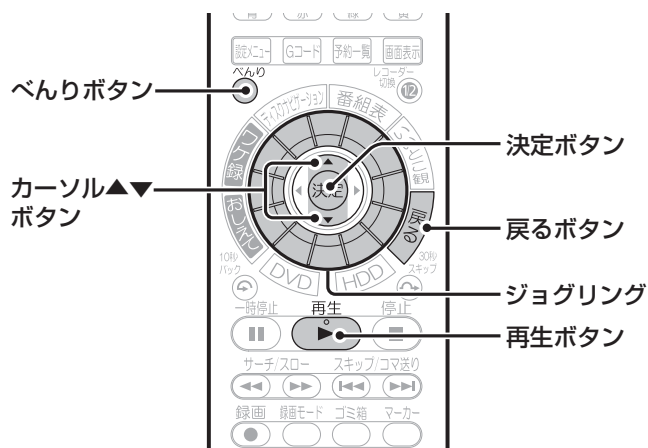
① **再生状態**
再生中（▶）、一時停止中（❚❚）、早送り中（▶▶）など、再生画面の状態が表示されます。

② **再生時間**

③ **現在の登録サムネイル**

④ **再生画面**
選んだ番組が再生されます。ここで選んだ場面がサムネイル表示の画像になります。

⑤ **番組の総再生時間**

⑥ **再生ポイント**
総再生時間のどの位置を再生しているかを示します。

1 ディスクナビゲーション画面（87ページ）でサムネイル画像を変更したい番組を選び、［べんり］を押す

2 ［カーソル▲▼］で「サムネイル設定」を選び、［決定］を押す

べんり（編集）
- ダビング
- 部分消去
- 番組分割
- チャプター作成
- タイトル編集
- サムネイル設定
- プロテクト
- フォルダ移動

選択　決定

3 ［再生］を押して、設定したい場面を表示する

- 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。
- ジョグリングを回して場面を切り換えることもできます。

4 設定したい場面が表示されたら、［決定］を押す

現在の登録サムネイル欄が選んだ場面に変更されます。

5 ［戻る］を押す

サムネイル設定画面が消えます。

お知らせ

● サムネイルを変更した後、HDD→DVDにダビングすると、変更前のサムネイルに戻ります。

観る

ワケ録ナビを使う

HDD TS　HDD VR

毎週、毎日放送される連続ドラマなどの番組をHDDに録画した場合に、録画した番組を自動的にフォルダ分類して表示します。連続ドラマなど同じタイトルの番組をフォルダごとに自動分類するので、見たい番組を快適に探し出すことができます。また、同じタイトルの番組だけを連続して再生することができます。

同じタイトルの番組が2番組になったときに初めてフォルダを作成するので、不要なフォルダで画面が一杯になる心配もありません。

さらに、番組名だけでなく、ジャンル・ユーザー・チャンネル・未視聴番組など、さまざまな分類方法で検索することもできます。番組の消去やDVDへのダビング（またはムーブ）もできます。

ワケ録ナビ画面では、録画番組の再生の他に、下記のような操作ができます。

●録画した番組を分割する（125ページ）

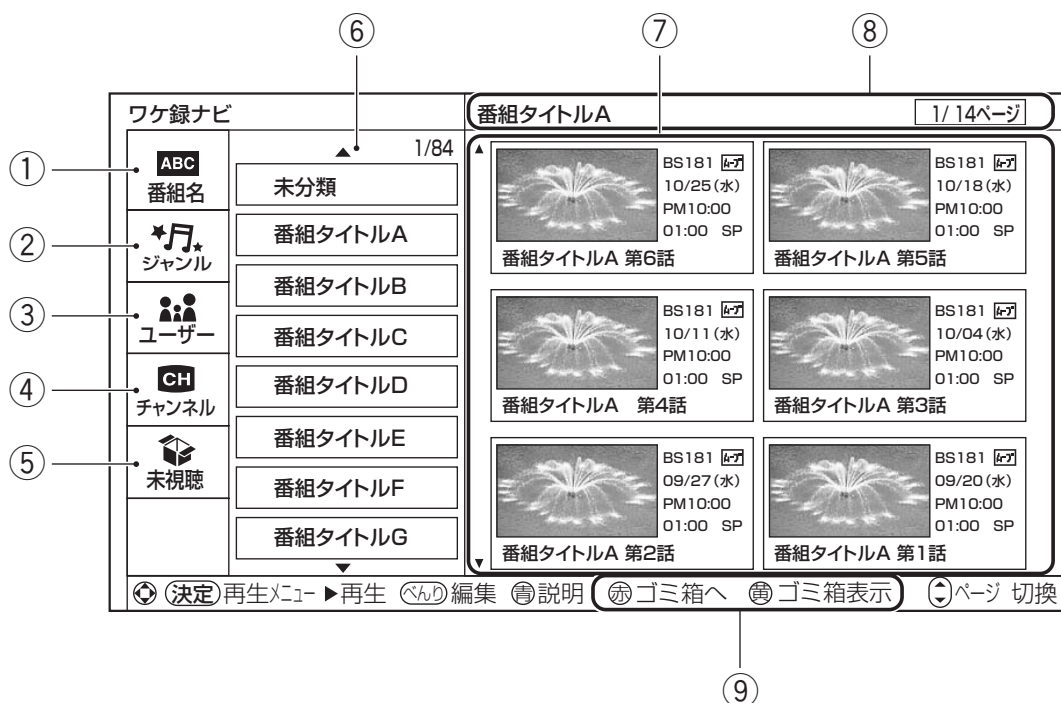
●録画番組のタイトルを入力する（139ページ）

●録画した番組を消去できないようにプロテクト（保護）する（140ページ）

●録画した番組を1つずつまたはフォルダごとにまとめてダビングする（113ページ）

●録画した番組をゴミ箱に移動する（121ページ）

●フォルダ内の番組をまとめてゴミ箱に移動する（121ページ）

●ゴミ箱の中身を消去する（123ページ）

① **番組名**

録画された番組を番組名ごとに分類します。同じ番組名（ドラマ・ドキュメンタリーなど）は同じフォルダで管理されます。スペシャル番組やドラマの第1話などが録画されると、まずは「未分類」フォルダで管理され、以降に同じ番組名が2番組以上（ドラマの第2話など）録画されたときに、その番組名のフォルダが自動的に作成され、そこでまとめて管理されます。アナログ放送の番組名を手動で変更する場合は、番組名の先頭から全角6文字が一致すると、その番組名のフォルダが自動的に作成されます。

② **ジャンル**

録画された番組を番組情報に含まれるジャンル（映画、ドラマ、バラエティー、アニメ、スポーツ、音楽、趣味／教育、ドキュメンタリー、ニュース、ワイドショー、劇場／公演、福祉、その他）ごとに分類します。同じジャンルの番組は同じフォルダで管理されます。
どのジャンルにも属さない番組は「その他」フォルダで管理されます。

③ **ユーザー**

録画された番組を個人別に分類します。あらかじめ「ユーザー1」～「ユーザー8」の8つのユーザーフォルダと「その他」フォルダが用意されています。録画予約するときにユーザーフォルダを選べます。
必要に応じてフォルダ名を変更したり、フォルダ間で番組を移動したりするなど、さまざまな編集を行うことができます（91ページ）。

④ **チャンネル**

録画された番組をチャンネルごとに分類します。対象のチャンネルの番組が録画された場合にのみ、そのチャンネルのフォルダが表示されます。

⑤ **視聴状況**

録画してから一度も観ていない番組は「未視聴」フォルダに、すでに観た番組は「視聴済」フォルダに分類されます。「未視聴」フォルダ内の番組を一度観ると、その番組は「視聴済」フォルダに自動的に移動します。

⑥ **サブフォルダ**

番組名やジャンルなど、選択した分類項目に含まれるフォルダを表示します。

⑦ **録画番組**

選んだサブフォルダに分類されている番組が表示されます。
録画した番組の画像、チャンネル、日付け、開始時刻、録画時間、録画モード、番組タイトルも表示されます。
番組にカーソルを合わせると、番組の先頭から再生されます。

⑧ **番組名・ページ情報**

番組名と、表示中のページ情報が表示されます。この例では、14ページの1ページ目が表示されていることを示しています。

⑨ **ゴミ箱へ／ゴミ箱表示**

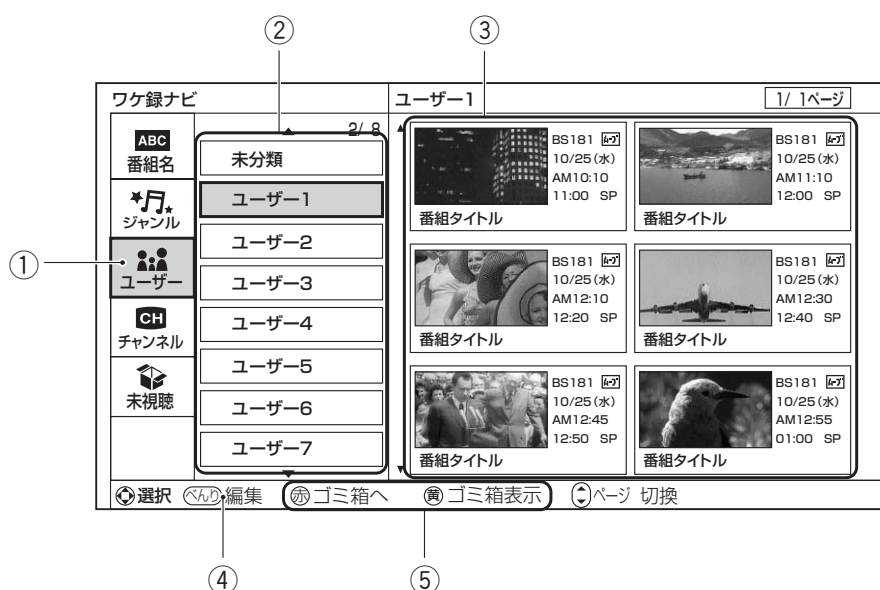
番組をゴミ箱に移動したり、ゴミ箱の内容を表示したりします（121～123ページ）。

ワケ録ナビの「ユーザー」フォルダ

ワケ録ナビの「ユーザー」のフォルダ機能を使って、フォルダの作成や移動など、HDDに録画した番組をパソコンや携帯電話のフォルダ機能と同じように管理できます。

ユーザーフォルダを使うと、さらに以下のような操作ができます。

●番組を別のユーザーフォルダに移動する（94ページ）
●フォルダ名を変更する（95ページ）

■ユーザーフォルダ

①**「ユーザー」**
ユーザー名ごとのフォルダで録画番組を分類します。

②ユーザーのフォルダが表示されます。
フォルダ名は変更できます。

③**録画番組**
選んだサブフォルダに分類されている番組が表示されます。

④**編集機能**
ユーザーのフォルダを編集（フォルダ移動（94ページ）、フォルダ名変更（95ページ））します。

⑤**ゴミ箱へ／ゴミ箱表示**
番組をゴミ箱に移動したり、ゴミ箱の内容を表示します（121～123ページ）。

ワケ録ナビを使ってHDDに録画した番組を再生する

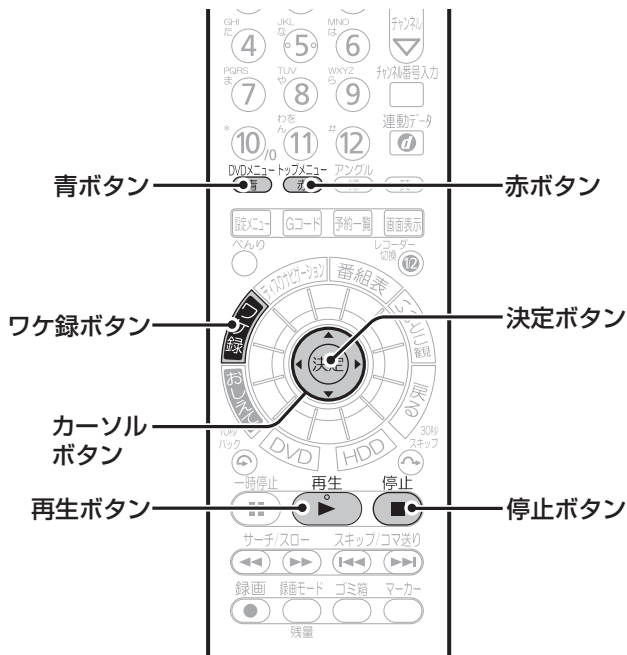
1 [ワケ録] を押す

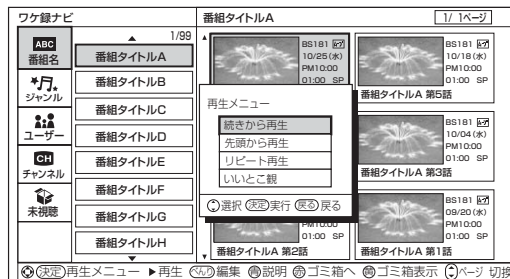
ワケ録ナビ画面が表示されます。

2 [カーソル ▲▼] で分類項目を選び、[決定] または [カーソル▶] を押す

選んだ項目のサブフォルダが表示されます。

3 [カーソル ▲▼] でサブフォルダを選び、[決定] または [カーソル▶] を押す

選んだサブフォルダに分類された番組が表示されます。

4 [カーソル ▲▼◀▶] で見たい番組を選び、[決定] を押す

再生メニューが表示されます。

- 番組を選んでから［再生］を押すと、前回停止した位置から再生します。

5 [カーソル ▲▼] で再生方法を選び、[決定]を押す

前回停止した位置から再生します。

先頭から再生します。

同じ番組を先頭から繰り返し再生します。［停止］を押すと、再生が停止し、リピート再生も解除されます。

「録画番組をダイジェストで再生する（いいとこ観）」（99ページ）をご覧ください。

選んだ番組が再生されます。

- 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。
- デジタル放送の録画した番組を選んで［青／DVDメニュー］を押すと、番組説明が表示されます。
- 消去したい番組を選んで［赤／トップメニュー］を押すと、選んだ番組をゴミ箱へ移動できます（121ページ）。

■ 再生を停止するには

［停止］を押します。

観る

お知らせ

- 録画中の番組はワケ録ナビ画面に表示されません。
- 録画中はサムネイルの画像が再生されません。
- 「HDD-DVD設定」（146ページ）の「サムネイル作成時間」を「0分」に設定していても、実際のサムネイル画像は録画番組の開始から約5秒後の画面になります。

サムネイルの画像をお好みの場面に変更する（サムネイル設定）

ワケ録ナビ画面のサムネイル表示の画像をお好みの場面に変更できます。

サムネイル設定画面

① **再生状態**
再生中（▶）、一時停止中（❚❚）、早送り中（▶▶）など、再生画面の状態が表示されます。

② **再生時間**

③ **現在の登録サムネイル**

④ **再生画面**
選んだ番組が再生されます。ここで選んだ場面がサムネイル表示の画像になります。

⑤ **番組の総再生時間**

⑥ **再生ポイント**
総再生時間のどの位置を再生しているかを示します。

1 ワケ録ナビ画面（90ページ）を表示し、サムネイル画像を変更したい番組を選び、［べんり］を押す

2 ［カーソル ▲▼］で「サムネイル設定」を選び、［決定］を押す

べんり（編集）
- ダビング
- 部分消去
- 番組分割
- チャプター作成
- タイトル編集
- サムネイル設定
- プロテクト
- フォルダ移動

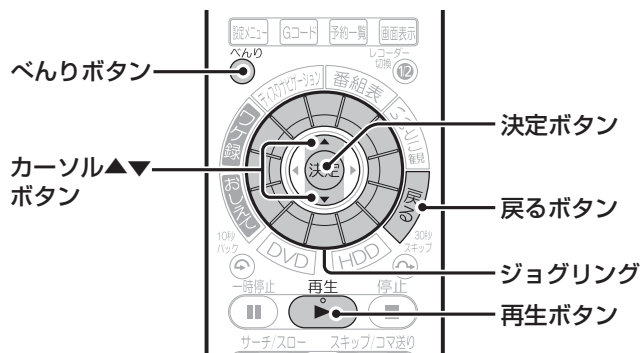
3 ［再生］を押して、設定したい場面を表示する

- 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。
- ジョグリングを回して場面を切り換えることもできます。

4 設定したい画面が表示されたら、［決定］を押す

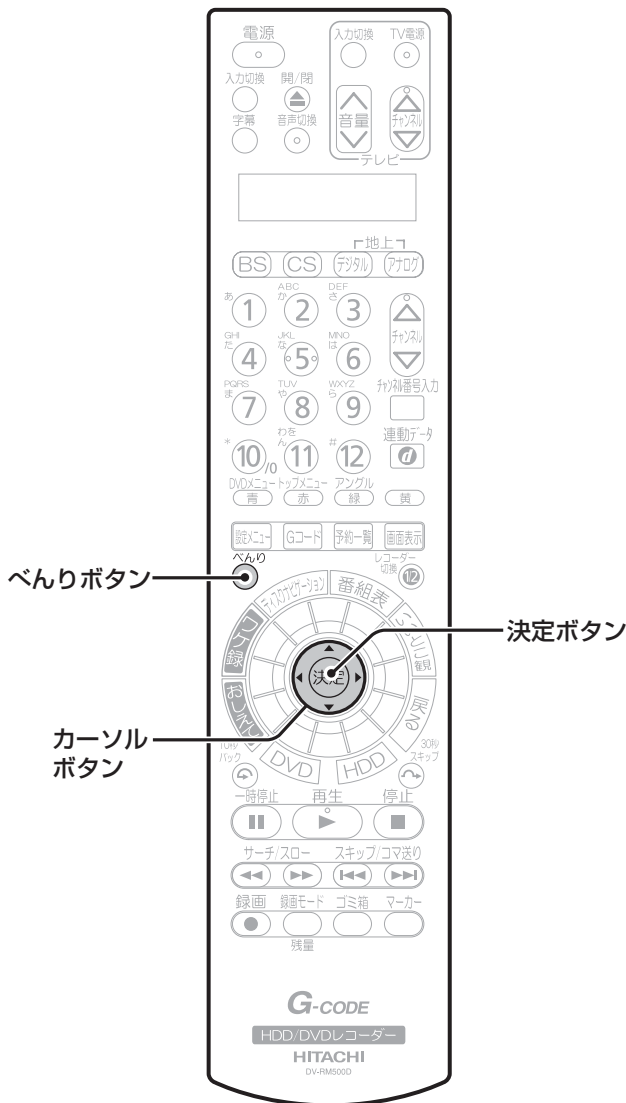
現在の登録サムネイル欄が選んだ場面に変わります。

5 ［戻る］を押す

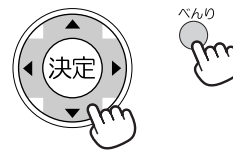
サムネイル設定画面が消えます。

番組を別のユーザーフォルダに移動する

ユーザーフォルダの中の番組を指定して、他のユーザーフォルダに移動できます。

1 ワケ録ナビ画面（90ページ）を表示し、［カーソル▲▼］で「ユーザー」を選び、［決定］を押す

ユーザーのフォルダが表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で移動元の番組が入っているフォルダを選び、［決定］を押す

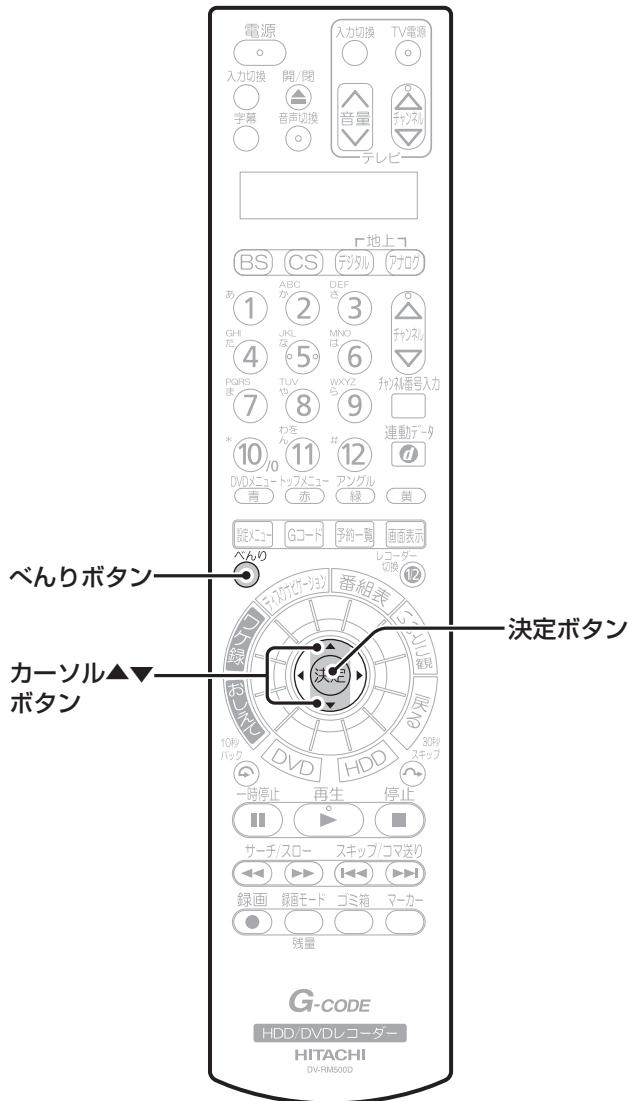
選択したフォルダに入っている番組が表示されます。

3 ［カーソル▲▼◀▶］で移動したい番組を選び、［べんり］を押す

4 ［カーソル▲▼］で「フォルダ移動」を選び、［決定］を押す

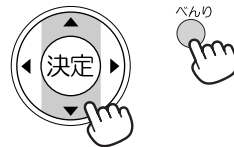
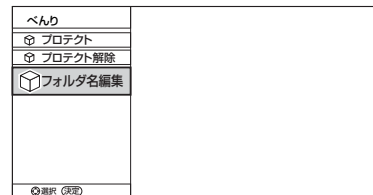
5 ［カーソル▲▼］で移動先のフォルダを選び、［決定］を押す

フォルダ移動画面が消え、選んだ番組が指定したフォルダに移動します。

ユーザーフォルダ名を変更する

ユーザーフォルダ名を家族の名前など、お好みの名前に変更できます。

1 ワケ録ナビ画面（90ページ）を表示し、［カーソル ▲▼］で「ユーザー」を選び、［決定］を押す

ユーザーのフォルダが表示されます。

2 ［カーソル ▲▼］で名前を変更するフォルダを選び、［べんり］を押す

3 ［カーソル ▲▼］で「フォルダ名編集」を選び、［決定］を押す

4 フォルダ名を入力する

文字の入力方法については、「文字を入力する」（148ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 「未分類」のフォルダ名は変更できません。

観る

録画しながら再生する

HDD TS HDD VR RAM

録画中にその番組のはじめから再生したり、すでに録画している他の番組を再生したりできます。

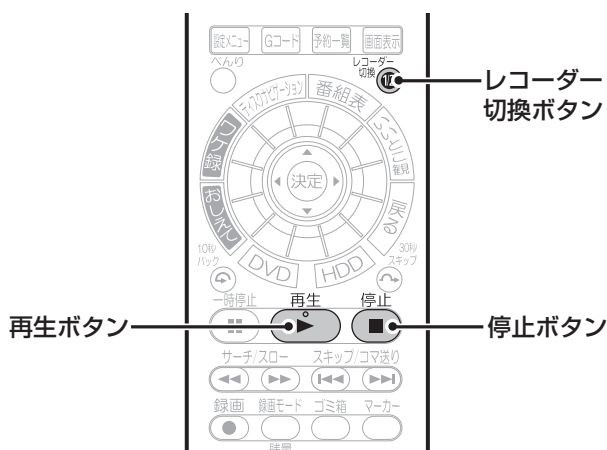
録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

録画中の番組をはじめから再生することができます。

1 録画中に［再生］を押す

現在録画している番組のはじめから再生されます。

画面下側には現在の録画時間と、録画時間のどの位置を再生しているかを示す再生ポイントが表示されます。

- 追いかけ再生中は、録画した番組を再生しているときのように、早送りや早戻し、一時停止などの操作を行うことができます。再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。
- 早送りや1.5 倍速再生によって現在録画中の場面に追いつくと、再生が一時停止されます。

■ 同時録画をしているときは

[レコーダー切換]を押して追いかけ再生したいレコーダーを選び、[再生]を押します。

■ 追いかけ再生を停止するには

[停止]を押します。さらに録画も停止するときはもう一度[停止]を押します。

- ●同時録画をしているときは、現在再生中の録画のみが停止します。

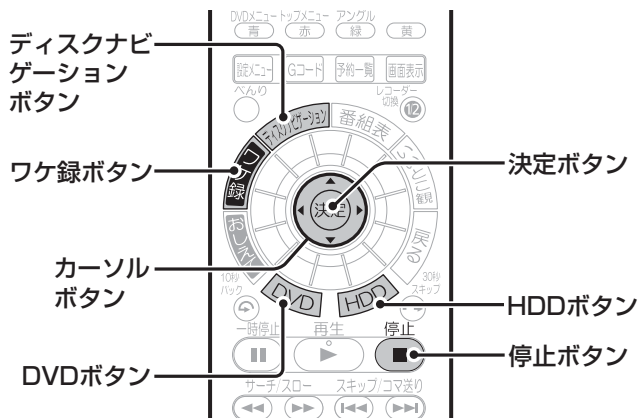
お知らせ

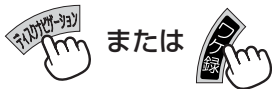
- ● 録画を開始してから約1分以内は追いかけ再生ができません。

観る

録画中に別の録画番組を再生する（同時録画再生）

録画しながら、別の録画番組を再生することができます。

■HDDへの録画中にHDDに録画されている別の番組を再生する

1 録画中に［ディスクナビゲーション］または［ワケ録］を押す

 または

ディスクナビゲーション画面またはワケ録ナビ画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼◀▶］で見たい番組を選び、［決定］を押す

再生メニューが表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で再生方法を選び、［決定］を押す

- 続きから再生：前回停止した位置から再生します。
- 先頭から再生：先頭から再生します。
- リピート再生：同じ番組を先頭から繰り返し再生します。［停止］を押すと、再生が停止し、リピート再生も解除されます。
- いいとこ観：「録画番組をダイジェストで再生する（いいとこ観）」（99ページ）をご覧ください。

録画を続けながら、選んだ番組が再生されます。

■ 再生、録画を停止するには

再生を停止するには、［停止］を押します。さらに録画も停止するときは、もう一度［停止］を押します。

■HDDへの録画中にDVDに録画されている番組を再生する

1 録画中に［DVD］を押す

使用するディスクがDVDに切り換わります。

2 DVDディスクをディスクトレイに入れる

3 ［ディスクナビゲーション］を押す

ディスクナビゲーション画面が表示されます。

4 ［カーソル▲▼◀▶］で見たい番組を選び、［決定］を押す

再生メニューが表示されます。

5 ［カーソル▲▼］で再生方法を選び、［決定］を押す

- 続きから再生：前回停止した位置から再生します。
- 先頭から再生：先頭から再生します。
- リピート再生：同じ番組を先頭から繰り返し再生します。［停止］を押すと、再生が停止し、リピート再生も解除されます。
- いいとこ観：「録画番組をダイジェストで再生する（いいとこ観）」（99ページ）をご覧ください。

録画を続けながら、選んだ番組が再生されます。

■ 再生、録画を停止するには

再生を停止するには、［停止］を押します。
録画を停止するには、［HDD］を押してから、［停止］を押します。

■HDDへの録画中にDVDビデオを再生する

1 録画中に［DVD］を押す

使用するディスクがDVDに切り換わります。

• すでにDVDビデオがディスクトレイに入っているときは、自動的に再生されます。

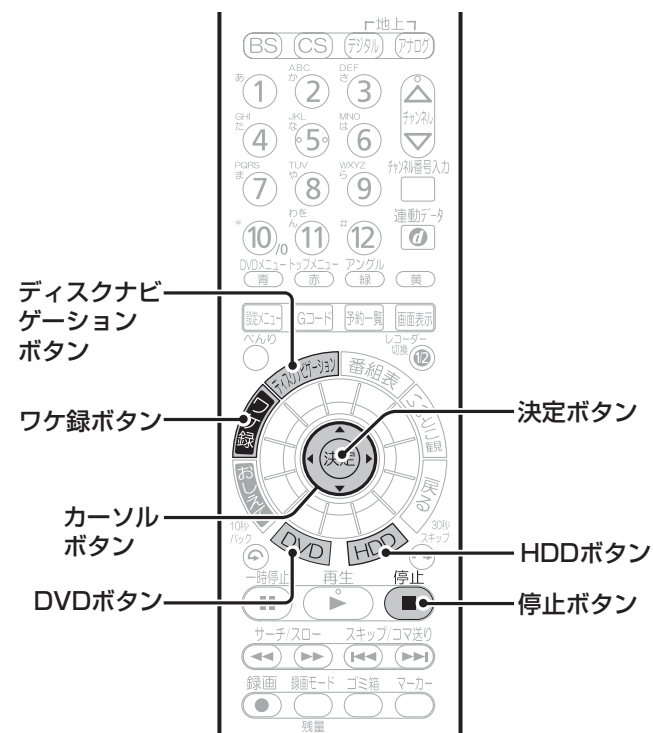
2 DVDビデオをディスクトレイに入れる

ディスクトレイを閉じると、DVDビデオが自動的に再生されます。

■ 再生、録画を停止するには

再生を停止するには、［停止］を押します。
録画を停止するには、［HDD］を押してから、［停止］を押します。

■DVDへの録画中にHDDに録画されている番組を再生する

DVD-RAMまたはVRフォーマットのDVD-RW、DVD-Rへの録画中のみ、HDDに録画されている番組を再生することができます。

1 録画中に［HDD］を押す

使用するディスクがHDDに切り換わります。

2 ［ディスクナビゲーション］または［ワケ録］を押す

 または

ディスクナビゲーション画面またはワケ録ナビ画面が表示されます。

3 ［カーソル▲▼◀▶］で見たい番組を選び、［決定］を押す

再生メニューが表示されます。

4 ［カーソル▲▼］で再生方法を選び、［決定］を押す

メニュー	説明
続きから再生	前回停止した位置から再生します。
先頭から再生	先頭から再生します。
リピート再生	同じ番組を先頭から繰り返し再生します。［停止］を押すと、再生が停止し、リピート再生も解除されます。
いいとこ観	「録画番組をダイジェストで再生する（いいとこ観）」（99ページ）をご覧ください。

録画を続けながら、選んだ番組が再生されます。

■ 再生、録画を停止するには

再生を停止するには、［停止］を押します。
録画を停止するには、［DVD］を押してから、［停止］を押します。

お知らせ

● ディスクナビゲーション画面については「ディスクナビゲーションを使って録画した番組を再生する」（87ページ）を、ワケ録ナビ画面については「ワケ録ナビを使ってHDDに録画した番組を再生する」（92ページ）をご覧ください。
● 番組再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。
● DVD-RAMに録画しながら、同じDVD-RAMに録画されている別の番組を再生することもできます。

録画番組をダイジェストで再生する（いいとこ観）

HDD TS HDD VR

録画された映像の動きと音声の変化量からシーンを解析し、重要と思われる部分を抜き出してダイジェストで再生します。例えば、2時間のスポーツ中継の見どころを約5分で観ることができます。

サッカー、野球、音楽など* 録画番組のジャンルを自動検出し、各ジャンルに最適な解析方法で重要と思われる部分を抜き出します。

再生時間は、5分〜30分の間で5分間隔で指定できます。

＊相撲／ニュース／囲碁・将棋／競馬／ゴルフのジャンルも自動検出します。

ご注意

● いいとこ観で抜き出されるシーンは、必ずしも番組の内容を適切に抜き出したものではありません。また、必ずしもご使用になる方の意図するシーンを抜き出したものではありません。

■ いいとこ観再生が可能な番組録画をするには

●「HDD-DVD設定」（146ページ）の「いいとこ観録画」を「する」に設定しておきます。初期値（工場出荷時）は、「する」が設定されています。
●レコーダー1（R1）でHDDに録画します。
●5分以上録画してください。

■録画番組を選んでいいとこ観する

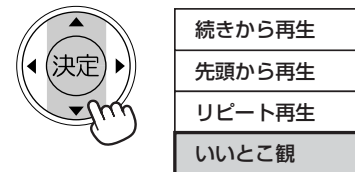
1 いいとこ観する録画番組を選ぶ

ディスクナビゲーションを使って選ぶ
「ディスクナビゲーションを使って録画した番組を再生する」の手順1〜3（88ページ）を行います。手順1では、［HDD］を押してください。

ワケ録ナビを使って選ぶ
「ワケ録ナビを使ってHDDに録画した番組を再生する」の手順1〜4（92ページ）を行ってください。

• いいとこ観可能な録画番組には、DATA または が表示されています（87ページ）。

2 ［カーソル▲▼］で「いいとこ観」を選び、［決定］を押す

続きから再生
先頭から再生
リピート再生
いいとこ観

いいとこ観画面が表示され、最初のいいとこ観ポイントから、いいとこ観再生が始まります。

番組内容に合ったジャンルが自動選択されます。
現在再生されている部分

いいとこ観で再生されるいいとこ観ポイント

• いいとこ観画面を消すには、［いいとこ観］または［戻る］を押してください。
• いいとこ観画面は約10分で自動的に消えます。

■ いいとこ観再生中に使える機能

機能	操作ボタン	参照ページ／説明
停止	停止	いいとこ観再生を停止します。
一時停止	一時停止	82ページ
チャプターの作成	マーカー	128ページ

機能	操作ボタン	参照ページ／説明
スキップ	スキップ/コマ送り	[I◀◀]を押すと、現在再生しているいいとこ観ポイントの先頭から再生します。再度押すと、前のいいとこ観ポイントから再生します（前のいいとこ観ポイントがある場合）。[▶▶I]を押すと、次のいいとこ観ポイントに移動します（次のいいとこ観ポイントがある場合）。（一時停止中に[I◀◀]や[▶▶I]を押しても、いいとこ観ポイントの移動になります。）

観る

■いいとこ観の設定を変更する

いいとこ観再生中に条件を変更できます。

お知らせ

●「いいとこ観」は、ご希望のシーンが再生されない場合があります。この場合は、再生時間を変更して、もう1度いいとこ観再生してください。

1 いいとこ観再生中に［いいとこ観］を押す

いいとこ観画面が表示されます。

番組内容に合ったジャンルが自動選択されます。

現在再生されている部分

いいとこ観で再生されるいいとこ観ポイント

- 「ジャンル」と「再生時間」の初期設定は下表の通りです。

録画番組	ジャンルの初期設定	再生時間の初期設定
デジタル放送の番組内容サッカー、野球、音楽など	放送内容に対応したジャンル	おまかせ（サッカー、野球、ゴルフは5分）
デジタル放送(上記以外)	その他	5分
アナログ放送	その他	5分

- いいとこ観ポイントの選択条件を変更する場合は、［カーソル◀▶］で「ジャンル」または「再生時間」を選び、［カーソル▲▼］で選択内容を変更します。

選択条件項目	選択内容
ジャンル*1	サッカー、野球、音楽など
再生時間	おまかせ*2、5分、10分、15分、20分、25分、30分（例えば「5分」を選ぶと、いいとこ観再生が約5分で終了するようにいいとこ観ポイントが編集されます。）

＊1 ジャンルが「サッカー」「野球」「ゴルフ」「その他」の場合、再生時間に「おまかせ」は設定できません。

＊2「おまかせ」選択時の再生時間は、番組により変わります。

- いいとこ観の設定変更をやめる場合は、［戻る］を押します。（設定の変更もされません。）

2 ［カーソル◀▶］で「ジャンル」または「再生時間」を選び、［カーソル▲▼］で変更したいジャンル、再生時間に変え、［決定］を押す

3 ［カーソル▶］で「設定完了」を選び、［決定］を押す

最初のいいとこ観ポイントからいいとこ観再生が始まります。

- いいとこ観画面を消すには［いいとこ観］または［戻る］を押してください。いいとこ観画面を消しても、いいとこ観再生は続きます。
- 手順1でいいとこ観ポイントの選択条件を変更した場合は、いいとこ観ポイントの再構築が終了してからいいとこ観再生が始まります。

お知らせ

● いいとこ観画面表示中は、［画面表示］［音声切換］を押しても画面に表示が出ません。ただし音声は切り換わります。

観る

■ いいとこ観を途中から通常再生に戻すには

① ［いいとこ観］を押して、いいとこ観画面を表示する

② ［カーソル◀▶］で「再生モード」を選び、［カーソル▲▼］で「通常再生」に設定する

③ ［カーソル▶］で「設定完了」を選び、［決定］を押す

・いいとこ観で再生されていたシーンから、通常再生が始まります。

■ 通常再生中にいいとこ観を始めるには

① 再生中に［いいとこ観］を押して、いいとこ観画面を表示する

② ［カーソル▲▼］で「再生モード」を「いいとこ観再生」に設定し、［決定］を押す

③「設定完了」が選ばれていることを確認し、［決定］を押す

・最初のいいとこ観ポイントから、いいとこ観再生が始まります。

ご注意

- データ放送やラジオ放送番組、i.LINK入力や外部入力につないだ機器から録画した番組は、いいとこ観できません。
- いいとこ観再生ができる録画番組に、番組分割やチャプター消去、部分消去の編集をすると、いいとこ観再生ができなくなります。
- 再生中にノイズが入るような（受信障害が発生した場合など）番組の場合、ノイズが入っているシーンが抜き出される場合があります。
-「とばし観」の「録画設定」を「する」にして録画した番組でも、いいとこ観で本編以外のシーンが再生される場合があります。

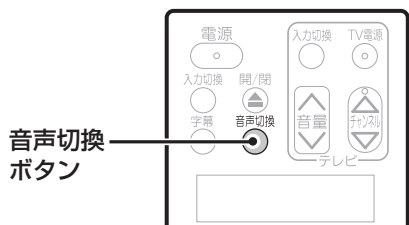
お知らせ

- いいとこ観ポイントの再構築に時間が（30分の番組で約1分）かかる場合があります。
- 番組によっては、内容に合わないジャンルが選択されることがあります。
- 指定した再生時間どおりに、いいとこ観ポイントが再構築されない場合があります。（再生時間の誤差が1分以上になる場合があります。）
- いいとこ観再生を一時停止した後で再開すると、続きから再開されます。
- いいとこ観再生を停止した後で再開すると、最後に設定したジャンル・再生時間で、最初のシーンから再開されます。

音声・字幕・アングルを切り換える

音声を切り換える

HDD TS HDD VR RAM RW VR R VR V

再生中の番組が複数の音声で録画されている場合、音声を切り換えることができます。

1 再生中に［音声切換］を押す

押すたびに音声が切り換わります。

- デジタル放送の番組が［音声切換］を押しても変わらない場合（マルチ音声放送）、「デジタル放送の音声・映像・字幕を切り換える」（23ページ）の方法をお試しください。

■ 二重音声の切り換えについて

以下のような場合、二重音声番組を録画しても、音声を切り換えることができません。

- ●ビデオフォーマットのDVD-RWまたはDVD-Rに録画した場合
- ●「HDD-DVD設定」（146ページ）の「DVD-Video互換記録」を「入」に設定して、「XP」、「SP」、「LP」、「EP」のいずれかの録画モードで、HDDに録画した場合
- ●「HDD-DVD設定」（146ページ）の「XPモード音声選択」を「LPCM」に設定して、「XP」モードで録画やDVDへのダビングを行った場合
- ●デジタル放送のマルチ音声放送を「XP」「SP」「LP」「EP」のいずれかの録画モードで録画した場合

お知らせ

- ● DVDビデオの場合、ディスクメニューから音声を選べる場合があります。切り換えられる音声はディスクによって異なります。

■ デジタル放送を視聴したりTSモードで録画、再生するときの音声出力は

「各種設定」-「デジタル音声出力」の設定（147ページ）	HDMI端子（デジタル）	光出力端子（デジタル）	音声出力端子（アナログ）
PCM	PCM（L/R 2チャンネルステレオ）で出力されます。＊1	PCM（L/R 2チャンネルステレオ）で出力されます。＊1	L/R 2チャンネルステレオで出力されます。＊1
AAC	出力されません。	放送、録画状態のまま、AAC＊2やPCMで出力されます。＊3	

＊1 元の音声がモノラルの場合はモノラルで出力されます。
＊2 接続する機器（アンプなど）がAACに対応している必要があります。
＊3 二重音声放送（二カ国語放送）の音声切り換えはできません。

■市販DVDソフトを再生するときの音声出力は

「HDD-DVD設定」-「DVD専用設定」-「デジタル音声出力」の設定（146ページ）	HDMI端子（デジタル）	光出力端子（デジタル）	音声出力端子（アナログ）
ダウンミックス	PCM（L/R 2チャンネルステレオ）で出力されます。＊1、2	PCM（L/R 2チャンネルステレオ）で出力されます。＊1、2	L/R 2チャンネルステレオで出力されます。＊1、2
ビットストリーム	出力されません。	ドルビーデジタル、DTSなどで出力されます。＊1、3、4	

＊1 元の音声がモノラルの場合はモノラルで出力されます。
＊2 市販DVDディスクでDTS音声を選択した場合は出力されません。
＊3 接続する機器（アンプなど）がドルビーデジタル、DTSなどに対応している必要があります。
＊4 収録されている音声は市販DVDソフトにより異なります。複数の音声形式で収録されている場合の切り換えは、DVDに収録されているメニューから切り換えます。

字幕言語を切り換える

再生中のDVDビデオに複数の字幕言語が記録されている場合、字幕言語を切り換えることができます。

●デジタル放送の字幕切り換えについては、「デジタル放送の音声・映像・字幕を切り換える」（23ページ）をご覧ください。

1 再生中に［字幕］を押す

押すたびに字幕が切り換わります。字幕を「なし」にすることもできます。

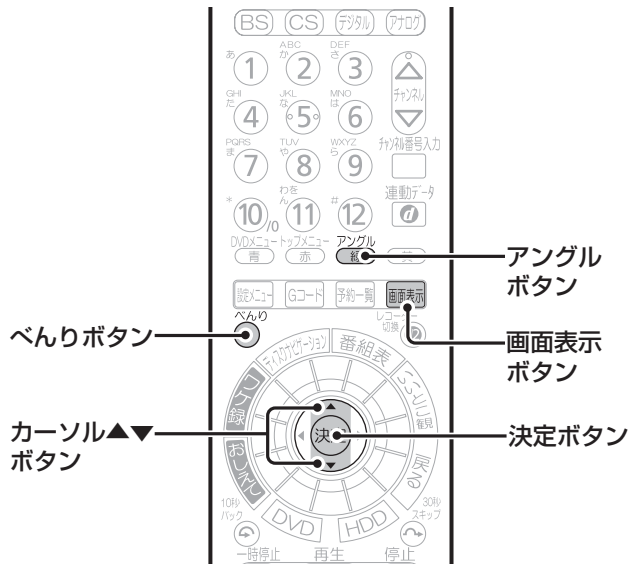
お知らせ

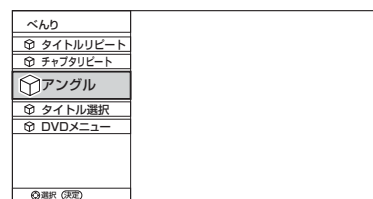
● DVDビデオの場合、ディスクメニューから字幕言語を選べる場合があります。切り換えられる字幕言語はディスクによって異なります。

● 字幕のあるデジタル放送番組は、放映中でも、HDDにTSモードで録画してから再生しても、［字幕］で字幕の切り換えができます。

字幕が出力されるまでには多少時間がかかる場合があります。

映像のアングルを切り換える

「マルチアングル」に対応している市販のDVDビデオの場合、アングルを切り換えることができます。

1 再生中に［べんり］を押す

2 ［カーソル ▲▼］で「アングル」を選び、［決定］を押す

•「アングル」を選ぶたびにアングルが切り換わります（最大9アングル）。

•［アングル］を押しても切り換えられます。

お知らせ

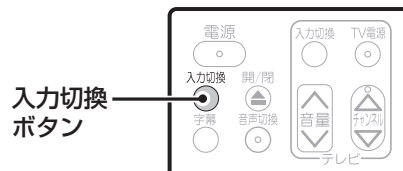
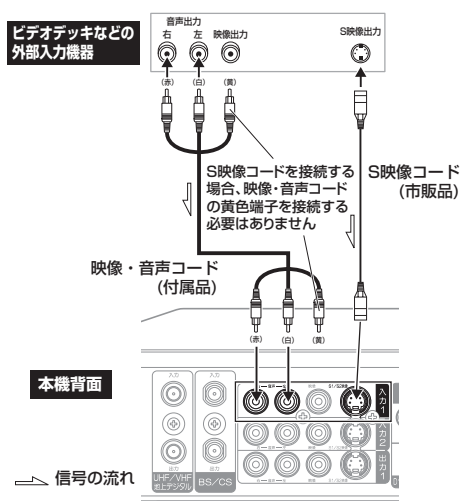
● 再生中に［画面表示］を押すと、現在選んでいるアングルの番号が表示されます。

● DVDビデオの場合、ディスクメニューからアングルを選べる場合があります。切り換えられるアングルはディスクによって異なります。

外部入力機器、i.LINK対応機器の映像を見る

ビデオデッキ、CSチューナー、ビデオカメラなど、本機の外部入力1、外部入力2、外部入力3端子に接続した外部入力機器、および本機のi.LINK端子に接続したi.LINK対応機器からの映像を見ることができます。（ビデオカメラのDV端子接続には対応しておりませんので、外部入力映像端子で接続してください。）

下図のように接続してください。

■ 外部入力1端子に接続する場合

■ i.LINK端子に接続する場合

お知らせ

● 入力切換をするときは、［レコーダー切換］を押して、「レコーダー1」に切り換えてください。

1 ［入力切換］を押す

・外部入力機器およびi.LINK対応機器からの映像が表示されます。

・［入力切換］を押すたびに、以下のように切り換わります。

外部入力1→外部入力2→外部入力3→i.LINK＊1
↑―――テレビ放送←―――┘

設定表示	画面の表示	本体表示窓の表示	内　容
外部入力1	L1	L1	背面の外部入力1端子（S映像・映像・音声入力端子＊2）に接続した機器の映像を見るときは、「L1」に切り換えます。
外部入力2	L2	L2	背面の外部入力2端子（S映像・映像・音声入力端子＊2）に接続した機器の映像を見るときは、「L2」に切り換えます。
外部入力3	L3	L3	前面の外部入力3端子（S映像・映像・音声入力端子＊2）に接続した機器の映像を見るときは、「L3」に切り換えます。
i.LINK＊1	i.LINK	d d LINC	背面のi.LINK端子に接続した機器の映像を見るときは、「i.LINK」（「d」）に切り換えます。i.LINK機器からの信号を認識すると、「d」→「d LINC」へ表示が変わり、映像を見ることができます。＊3

＊1 DV-DH1000D/500Dのみ

＊2 S映像入力端子と映像入力端子の両方が接続された場合、S映像入力端子の映像が優先されます。

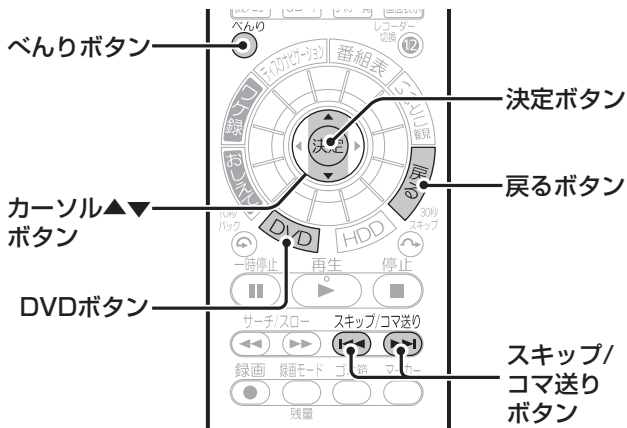
＊3 本機背面の2つのi.LINK端子の両方に映像が入力されている場合は、先に入力されているほうの映像が表示されます。

観る

DVDカメラやデジタルカメラで撮影した静止画を見る

DVDカメラでDVD-RAMに撮影した静止画を見る

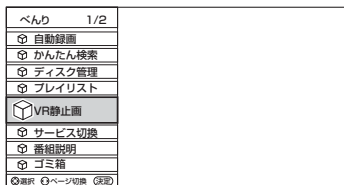
RAM

日立DVDカメラでDVD-RAMに記録した静止画を本機で表示することができます。

1 ［DVD］を押す

DVDランプが緑色に点灯して、使用するディスクがDVDに切り換わります。

2 静止画が記録されているDVD-RAMディスクを、ディスクトレイに入れる

3 ［べんり］を押す

4 ［カーソル ▲▼］で「VR静止画」を選び、［決定］を押す

5 静止画を見る

・DVD-RAMに記録されている静止画の1枚目が、画面に表示されます。

・［スキップ／コマ送り］を押すと、前後の静止画に切り換わります。

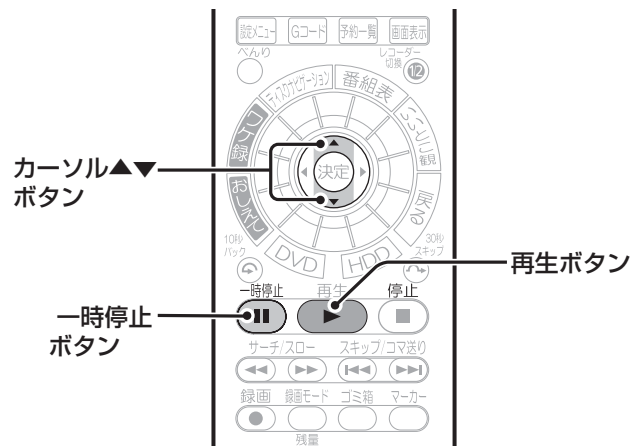
6 静止画を見終わったら、［戻る］を押す

静止画再生画面が消えます。

お知らせ

● ディスクナビゲーション画面については「ディスクナビゲーションを使って録画した番組を再生する」（87ページ）をご覧ください。

■スライドショーで表示する

DVD-RAMに記録されている静止画を次々と再生することができます。

1 静止画の再生中に［再生］を押す

スライドショーが開始されます。

• ［カーソル ▲▼］を押すと、次の静止画に切り換わるまでの時間間隔を5秒単位で設定することができます（5秒～60秒）。

■ スライドショーを止めるには

［一時停止］を押します。

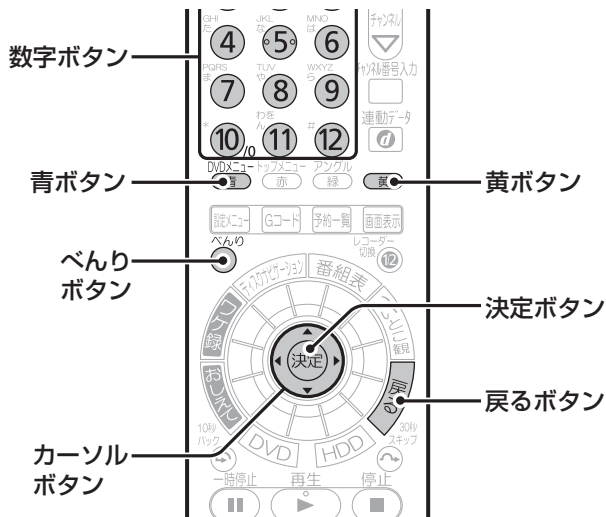
お知らせ

● パソコンなどでDVD-RAMに記録した静止画は再生できません。

観る

DVDカメラでSDカードに撮影した静止画や、デジタルカメラで撮影した静止画を見る

デジタルカメラなどで撮影したDCF規格の静止画を表示することができます。

● 大切なデータは、本機で表示する前にバックアップを取っておくことをおすすめします。

1 本機前面右側のフタを開け、表面を上にしてSDメモリーカードをまっすぐ奥まで差し込む

• 本機（DV-DH1000D/500D/250D）の拡張端子にデジタルカメラやメモリーカードリーダーを接続して、SDメモリーカード以外のメモリーカードに記録されている静止画を表示することもできます（107ページ）。

2 ［べんり］を押す

3 ［カーソル▲▼◀▶ ］で「写真を見る」を選び、［決定］を押す

4 ［カーソル▲▼◀▶ ］で1画面表示したい静止画を選び、［決定］を押す

• 記録されている静止画が1画面に表示しきれない場合は、［カーソル ▲▼ ］で画面をスクロールさせてください。
• ［青／DVDメニュー］を押すと、選んでいる静止画がスキップ設定されます。スキップ設定された静止画はスライドショーで表示されません。

5 静止画を見る

• ［黄］を押すたびに、静止画が90度ずつ時計回りで回転します。
• 数字ボタンを押すと、押した数字に該当する静止画に切り換わります。例えば、12枚目の静止画に切り換えるときは、⑩→①→②の順に数字ボタンを押します。

6 ［戻る］を押す

写真を見る画面に戻ります。

• 別の静止画を1画面表示したい場合は、手順4〜5を繰り返します。

7 ［戻る］を押す

写真を見る画面が消えます。

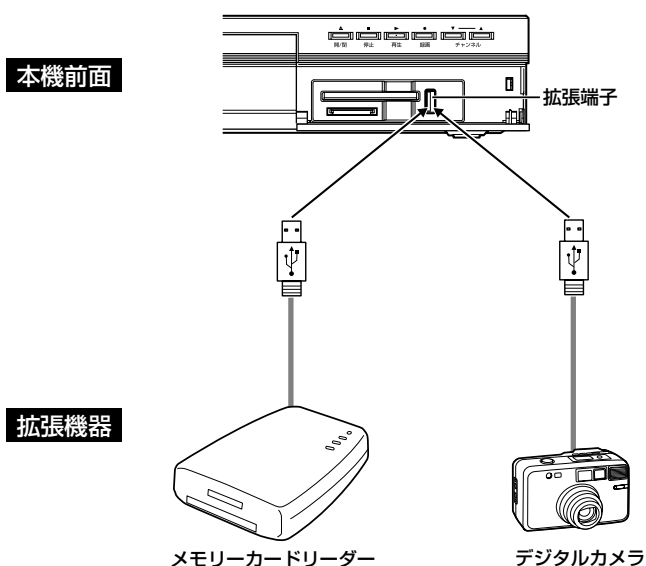
8 本機に挿入されているSDメモリーカードをいったん奥に押してから、SDメモリーカードを取り出す

■ DCFとは

DCFとは「Design rule for Camera File system」の略で、デジタルカメラの統一フォーマットとして制定された画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。

観る

■デジタルカメラ／メモリーカードリーダーを拡張端子に接続する（DV-DH1000D/500D/250D）

本機の拡張端子にメモリーカードリーダーを接続すると、SDメモリーカード以外のメモリーカードに記録された静止画像を再生することができます。また、デジタルカメラを接続すると、デジタルカメラで撮影した静止画を直接再生することができます。

■ 本機と接続できる拡張機器

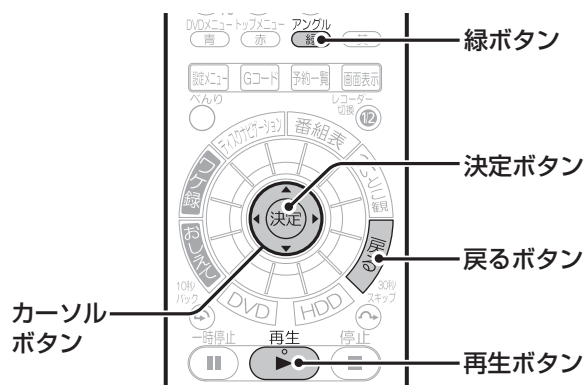
本機と接続したときの動作を確認できているメモリーカードリーダーやデジタルカメラについては、下記ホームページのQ&Aのコーナーをご覧ください（動作確認できている機器でも、正しく動作しないことがあります）。

● HITACHI AV-Worldホームページ：
http://av.hitachi.co.jp/

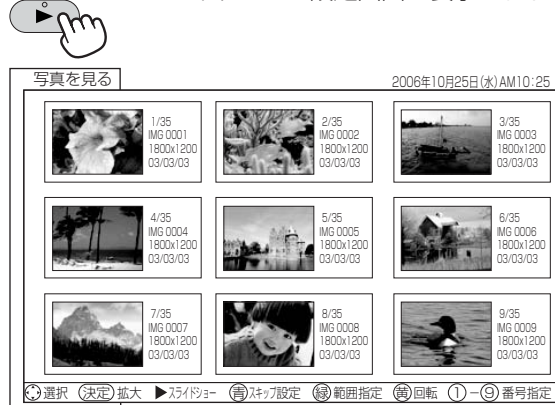
ご注意

- 途中で見られなくなった場合は、本機の電源を切ってメモリーカードを挿入し直し、もう一度電源を入れ直してください。
- 本機でメモリーカードへデータを書き込んだり、接続したデジタルカメラを操作することはできません。
- デジタルカメラの接続には、USBケーブルを使用してください。ただし、接続できるデジタルカメラは、USBマスストレージクラスかPTP方式に対応している必要があります。
- 本機で表示できる画像データは、DCF規格に準拠した画像データです。一部の携帯電話のカメラはDCF規格に準拠していません。
- 日立DVDカメラは、本機の拡張端子には接続できません。
- 本機の拡張端子には、対応しているメモリーカードリーダーを接続してください。対応していないメモリーカードリーダーを接続すると、故障の原因となります。
- 本機とメモリーカードリーダーの接続および取り外し、各種メモリーカードのメモリーカードリーダーへの挿入および取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。（録画ボタンが点灯していないことを確認してください。）

■スライドショーで表示する

SDメモリーカードに記録されている静止画を次々と再生することができます。

1 写真を見る画面で［再生］を押す

スライドショー設定画面が表示されます。

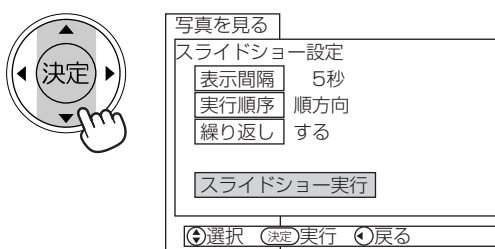
観る

• ［緑／アングル］を押すと、スライドショーで再生する静止画の範囲を設定できる状態になります。［カーソル▲▼◀▶］ではじめの静止画を選んで［決定］を押し、同様の操作で終わりの静止画を選ぶと、選んだ範囲の静止画だけがスライドショーで再生されます。

2 ［カーソル▲▼］で設定したい項目を選び、［決定］を押す

3 ［カーソル▲▼］で設定する内容を選び、［決定］を押す

設定項目	内　容
表示間隔	次の静止画を表示するまでの時間間隔を「5〜60（秒）」の範囲で設定します。
実行順序	スライドショーの表示順序を設定します。「順方向」に設定すると、小さい番号の静止画から順に表示されます。「逆方向」に設定すると、大きい番号の静止画から順に表示されます。
繰り返し	最後の静止画を表示した後、自動的に最初の静止画に戻ってスライドショーを繰り返し表示するか、スライドショーを終了するかを設定します。

4 ［カーソル▲▼］で「スライドショー実行」を選び、［決定］を押す

写真を見る
スライドショー設定
表示間隔　5秒
実行順序　順方向
繰り返し　する
スライドショー実行
選択　決定 実行　戻る

5 ［戻る］を押す

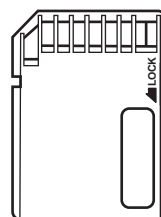
スライドショーが終了し、写真を見る画面に戻ります。

お知らせ

- スキップと回転の設定は、SDメモリーカードを取り出すまで保持されます。
- 表示できる静止画は最大999個です。
- サムネイルのない静止画はサムネイル表示されません。
- 4:3テレビで表示した場合、静止画は縦長に表示されます。
- 水平方向が3072画素、垂直方向が2304画素を超える静止画を表示することはできません。
- パソコンなどで編集した静止画や静止画の種類によっては、本機で表示できないことがあります。
- SDメモリーカードに記録されている静止画の容量によっては、すべての静止画を表示できないことがあります。

■ SDメモリーカードについて

SDメモリーカード（SDTM）とは、著作権保護機能を内蔵した切手サイズの小型メモリーカードです。

表面

裏面

●本機ではSDメモリーカードと同様にマルチメディアカード（MultiMediaCardTM）も使用することができます。

ご注意

- SDメモリーカード（またはマルチメディアカード）以外のものを本機に挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- SDメモリーカードは精密機械です。曲げたり、無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- SDメモリーカードの金属部（電極）に直接触れたり、汚れをつけたりしないでください。
- SDメモリーカードを加工したり、分解したりしないでください。
- SDメモリーカードに水をかけたり、高温多湿の場所、または腐食性のある環境での使用・保管は避けてください。
- SDメモリーカードの持ち運びや保管時は、静電気や電気的ノイズの影響を受けないように注意してください。静電気や電気的ノイズの影響を受けると、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。
- SDメモリーカードの画像を表示しているときは、本機の電源を切ったり、SDメモリーカードを本機から取り出したりしないでください。SDメモリーカードのデータが破壊されることがあります。